

令和4年度

逗子市人口データ集

逗子市

< 目 次 >

I. 将来人口

1. 将来人口の推計（国立社会保障・人口問題研究所による推計）	3
1-1. 将来人口の推計（全国、神奈川県、逗子市）	3
1-2. 年齢3区分別人口の推移（逗子市）	4
2. 逗子市総合計画の「推計人口」と「将来展望人口」	5
3. 逗子市人口ビジョンの「将来展望人口」	5

II. 人口等の概況

1. 推計人口の推移	6
2. 逗子市の人口推移	6
3. 自然増減・社会増減の推移	7
4. 地域別の人口推移	8
5. 合計特殊出生率の推移（全国、神奈川県、逗子市）	8
6. 高齢化率の推移（全国、神奈川県、逗子市）	9
7. 年齢3区分別人口	9
8. 外国人の状況	10

III. 令和4年度社会増減による人口動態の状況

1. 集計の概要	11
1-1. 集計の目的とデータの留意点	11
1-2. 集計項目と地域別分類	12
1-3. 集計結果の要約	13
2. 転入者データの集計	14
2-1. 年齢の状況 ～何歳の人が転入してきたか～	14
2-2. 転入元地域の状況 ～どこから転入してきたか～	15
2-3. 転入元地域別の年齢状況～どこから何歳の人が転入してきたか～	16
2-4. 転入先地域の状況	18
3. 転出者データの集計	22
3-1. 年齢の状況 ～何歳の人が転出したか～	22
3-2. 転出先地域の状況 ～どこへ転出したか～	23
3-3. 転出先地域別の年齢状況 ～どこへ何歳の人が転出したか～	24
3-4. 転出元地域の状況 ～どの地域（町丁目）から転出したか～	26
4. 社会増減の状況	27
4-1. 社会増減数	27
4-2. 社会増減の年齢状況	27
4-3. 社会増減の地域別状況	29
4-4. 社会増減の市内の地域別状況	30

IV. 令和4年度転入者・転出者アンケート結果

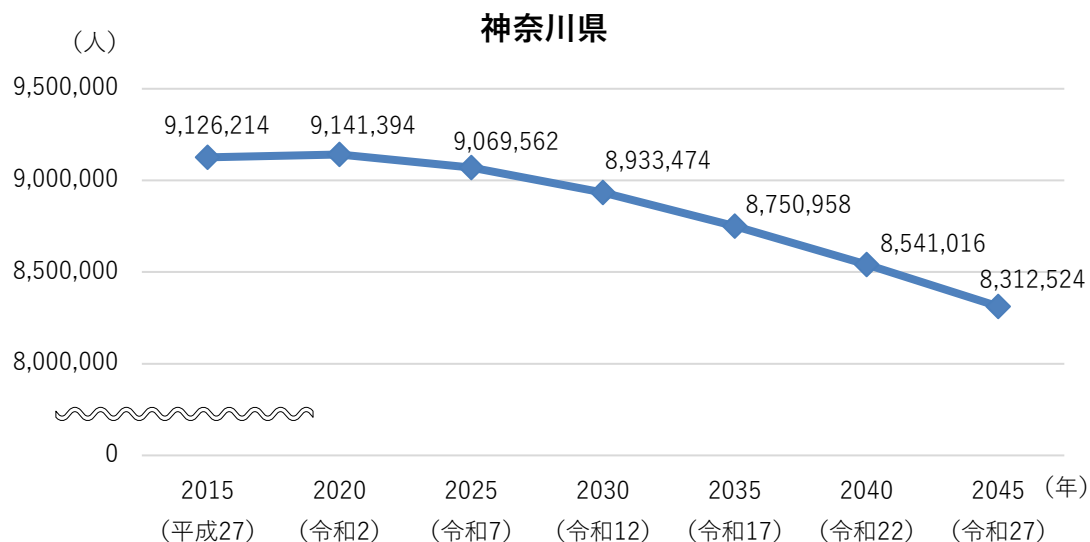
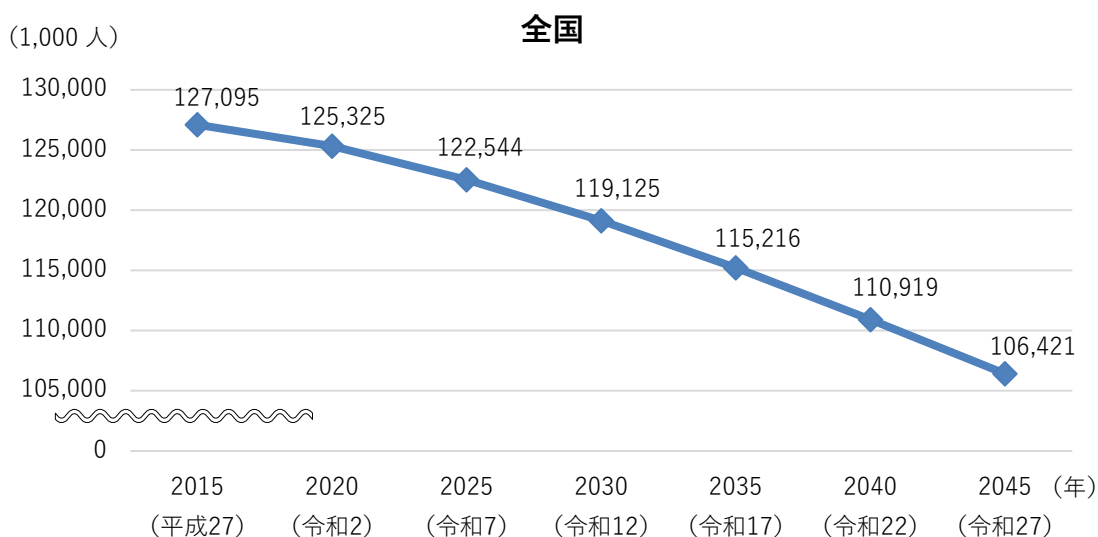
1. アンケート概要.....	31
1-1. アンケートの目的.....	31
1-2. アンケートの項目.....	31
1-3. アンケートの設計.....	31
1-4. 回収結果.....	31
2. 市内転入者アンケート集計結果.....	32
2-1. 転入の事情、きっかけ.....	32
2-2. 逗子市を転入先として選んだ理由.....	33
2-3. 以前に逗子市に住んだ経験の有無.....	35
2-4. 逗子市にずっと住みたいと思うか.....	36
2-5. 回答者のプロフィール.....	37
3. 市外転出者アンケート集計結果.....	39
3-1. 転出の事情、きっかけ.....	39
3-2. 逗子市に住んでいて良かったと感じた事柄.....	40
3-3. 逗子市に住んでいて不便または不満に感じた事柄.....	41
3-4. 事情が許すのであれば、逗子市に戻りたいかどうか.....	42
3-5. 回答者のプロフィール.....	43
4. 調査票.....	45

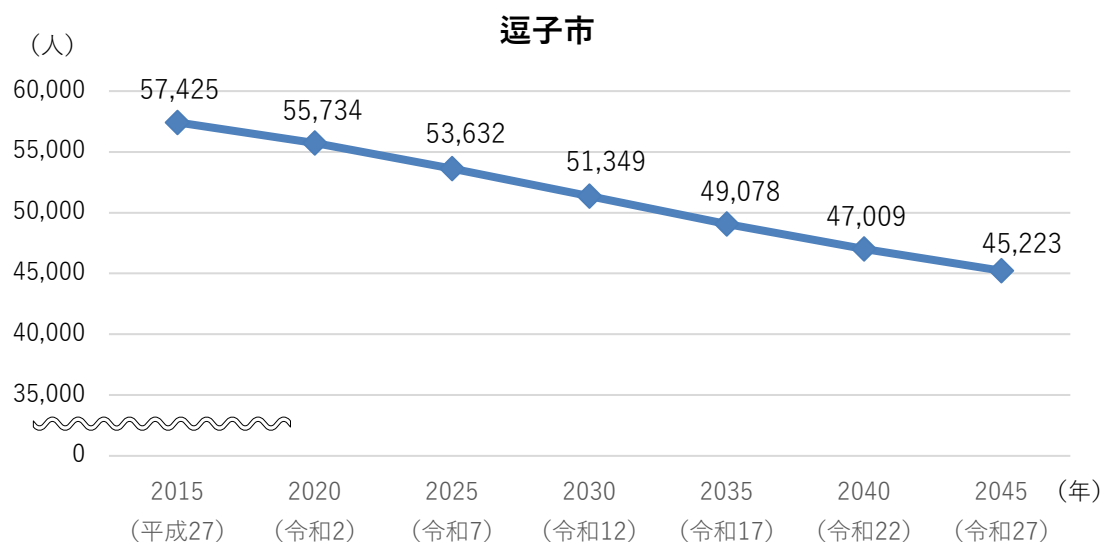
I. 将来人口

1. 将来人口の推計（国立社会保障・人口問題研究所による推計）

1-1. 将来人口の推計（全国、神奈川県、逗子市）

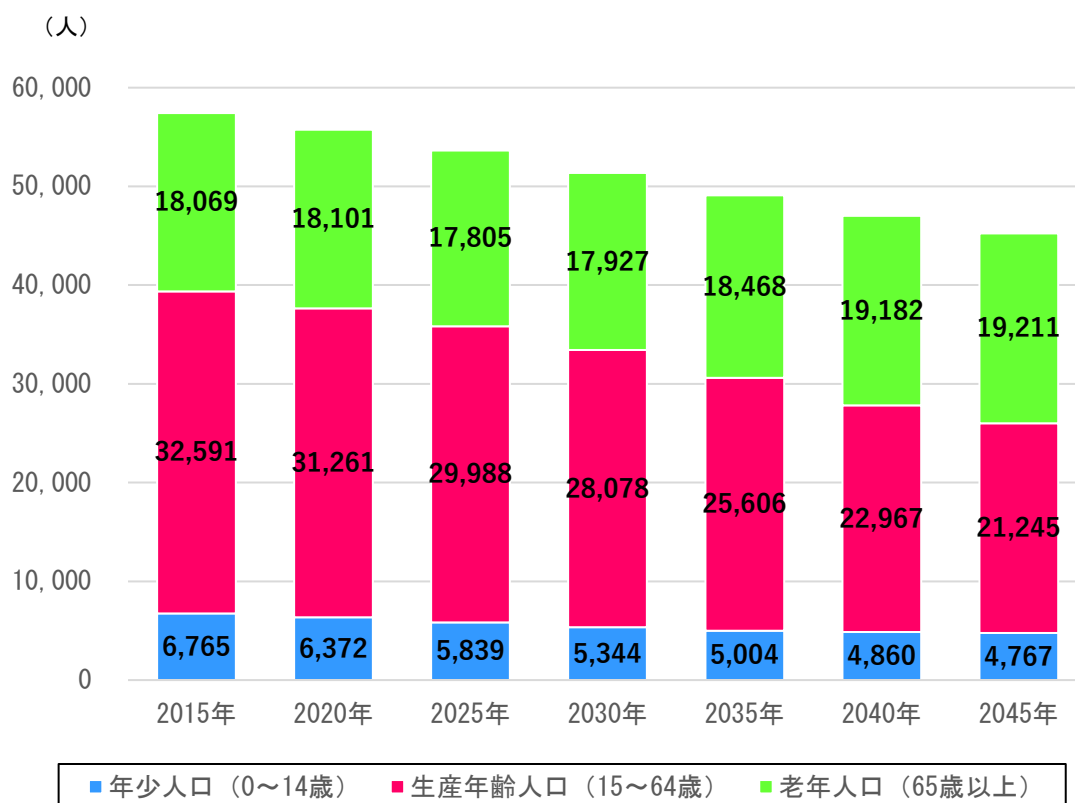
	2015 (平成 27)	2020 (令和 2)	2025 (令和 7)	2030 (令和 12)	2035 (令和 17)	2040 (令和 22)	2045 (令和 27)
全国(1,000 人)	127,095	125,325	122,544	119,125	115,216	110,919	106,421
神奈川県 (人)	9,126,214	9,141,394	9,069,562	8,933,474	8,750,958	8,541,016	8,312,524
逗子市 (人)	57,425	55,734	53,632	51,349	49,078	47,009	45,223





(資料) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」、
「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

1-2. 年齢3区分別人口の推移（逗子市）



(資料) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

2. 逗子市総合計画の「推計人口」と「将来展望人口」

	2020年（令和2年）		推計値 2030年（令和12年）		将来展望人口 2030年（令和12年）	
	人口（人）	構成比（%）	人口（人）	構成比（%）	人口（人）	構成比（%）
年少人口 0～14歳	6,569	11.5	5,307	10.1	6,305	12.0
生産年齢人口 15～64歳	32,034	56.1	28,854	55.0	28,295	53.9
老年人口 65歳以上	18,458	32.3	18,297	34.9	17,950	34.2
総人口	57,060	100.0	52,458	100.0	52,550	100.0

※2020年（令和2年）は国勢調査、将来展望人口は逗子市人口ビジョンによる。

（資料）企画課「逗子市総合計画実施計画（2023-2029）/第2期逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020-2024）」（2023年（令和5年）3月策定）

3. 逗子市人口ビジョンの「将来展望人口」

	2025年（令和7年）		2045年（令和27年）		2060年（令和42年）	
	人口（人）	構成比（%）	人口（人）	構成比（%）	人口（人）	構成比（%）
年少人口 0～14歳	6,309	11.6	7,312	14.9	17,821	32.9
生産年齢人口 15～64歳	30,131	55.5	22,588	45.9	19,285	39.2
老年人口 65歳以上	17,821	32.9	23,156	49.8	15,584	33.5
総人口	54,261	100.0	49,185	100.0	46,495	100.0

（資料）企画課「逗子市人口ビジョン」（2020年（令和2年）3月改訂）

Ⅱ. 人口等の推移

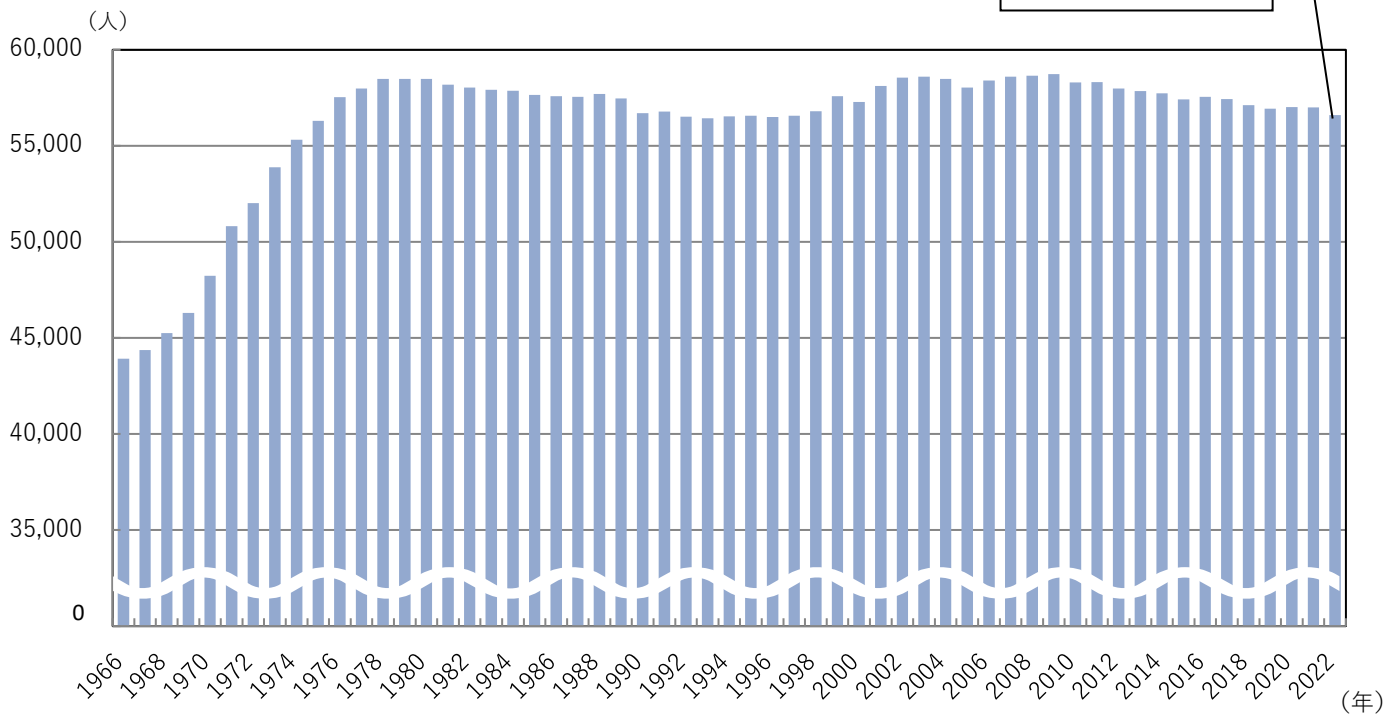
1. 推計人口の推移

	推計人口 (人)
令和4年4月	56,823
5月	56,788
6月	56,740
7月	56,725
8月	56,664
9月	56,677
10月	56,609
11月	56,564
12月	56,523
令和5年1月	56,437
2月	56,421
3月	56,352

(資料) 総務課「町丁字別推計人口(各月1日現在)」

※推計人口とは、5年に一度実施される国勢調査の数値を基礎とし、その数字に毎月の異動人口(出生・死亡・転入・転出)を加減して算出している人口のことで、住民基本台帳人口とは異なります。

2. 逗子市の人口推移



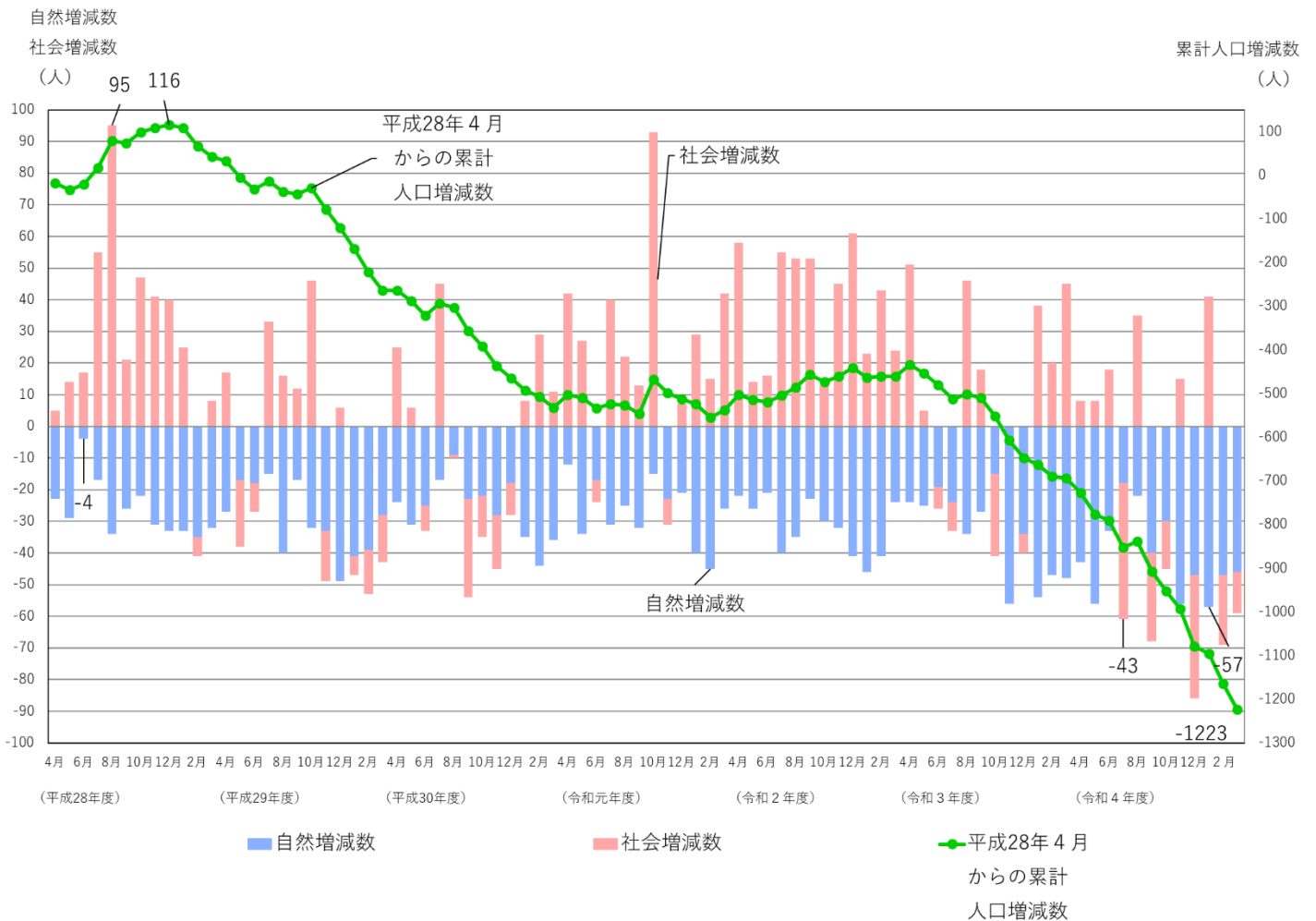
(資料) 総務課「推計人口(各年10月1日現在)」

3. 自然増減・社会増減の推移

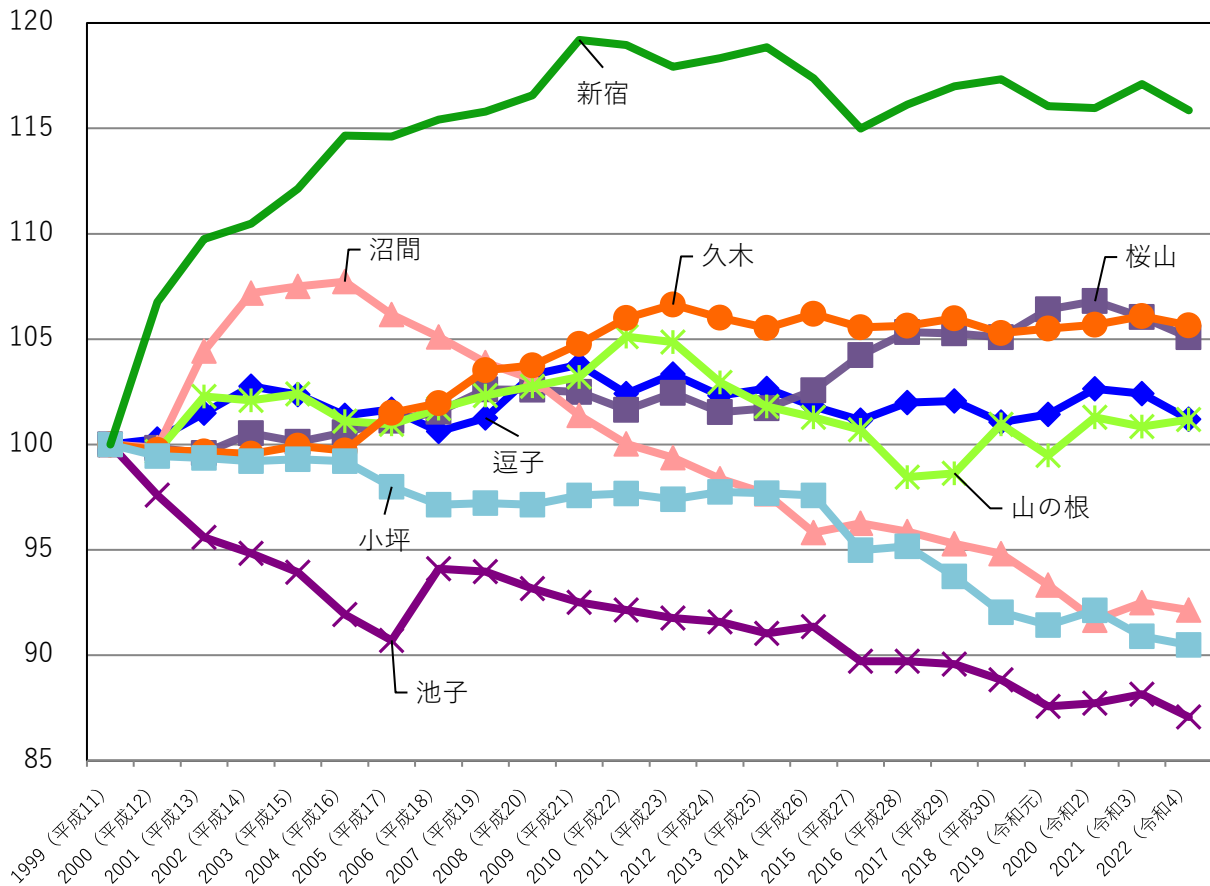
■ 自然増減・社会増減表（令和4年4月～令和5年3月累計）

区分		男	女	計	
自然増減	1 増加 出生	144	153	297	
	2 減少 死亡	409	383	792	
	A (1-2)	-265	-230	-495	
社会増減	3 増加	転入 県外	643	630	1,273
		県内	514	565	1,079
		その他	5	3	8
	計	1,162	1,198	2,360	
	4 減少	転出 県外	615	517	1,132
		県内	602	626	1,228
		その他	15	20	35
		計	1,232	1,163	2,395
B (3-4)	-70	35	-35		
合計 (A+B)	-335	-195	-530		

■ 自然増減・社会増減の推移（平成28年4月～）



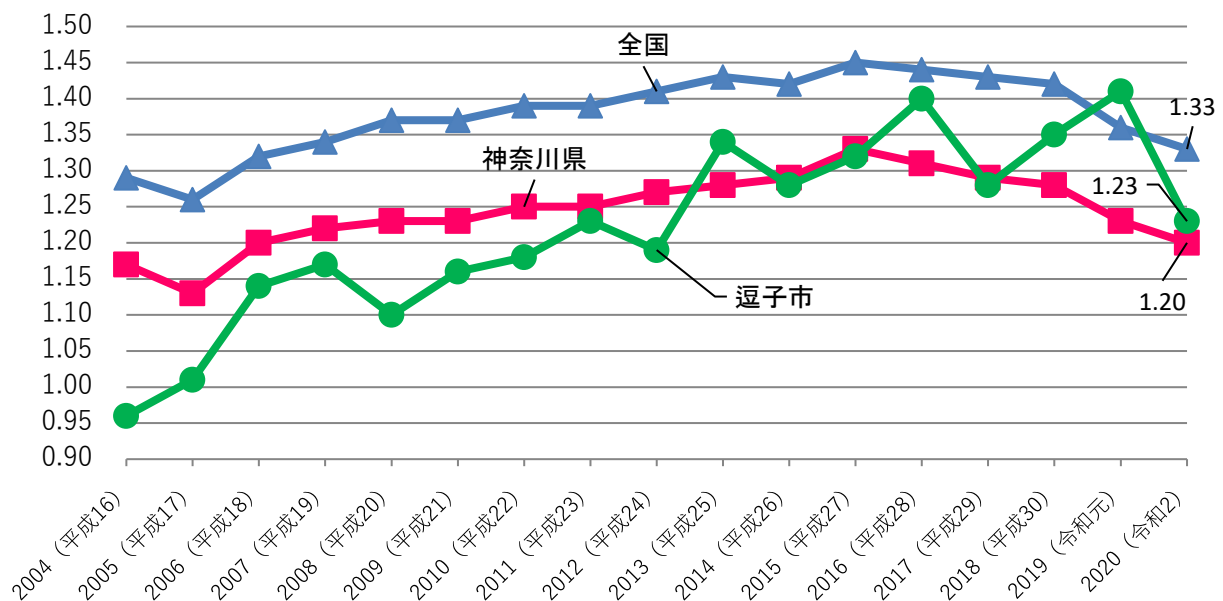
4. 地域別の人口推移



(資料) 総務課「町丁字別推計人口(各年10月1日現在)」

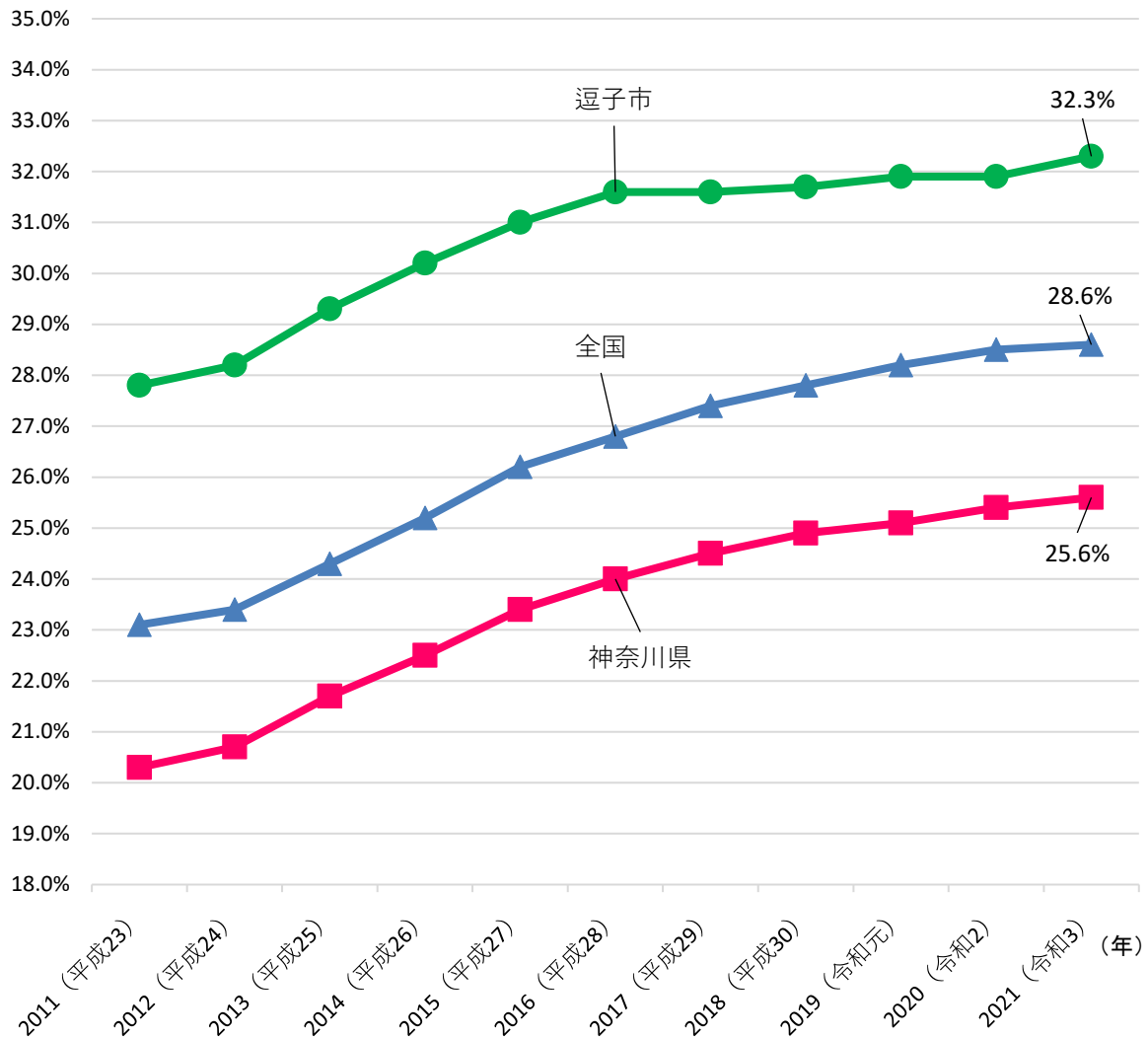
※1999(平成11)年の人口を100とした指数による字(あざ)ごとの地域別人口の推移

5. 合計特殊出生率の推移(全国、神奈川県、逗子市)



(資料) 国の数値は厚生労働省「人口動態統計」、神奈川県及び逗子市の数値は神奈川県「神奈川県衛生統計年報」

6. 高齢化率の推移（全国、神奈川県、逗子市）



（資料）神奈川県「神奈川県年齢別人口統計調査（各年1月1日現在）」

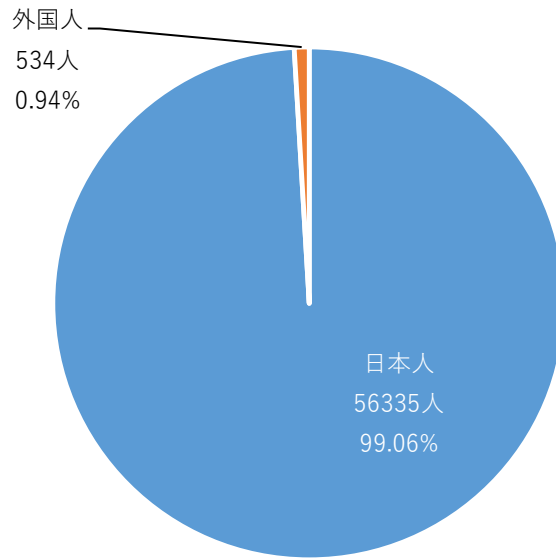
7. 年齢3区分別人口

総数 (人)	年少人口 (0～14歳) (人)	生産年齢人口 (15～64歳) (人)	老年人口 (65歳以上) (人)
56,869	6,253	31,253	17,781

（資料）神奈川県「神奈川県年齢別人口統計調査（令和4年1月1日現在）」

8. 外国人の状況

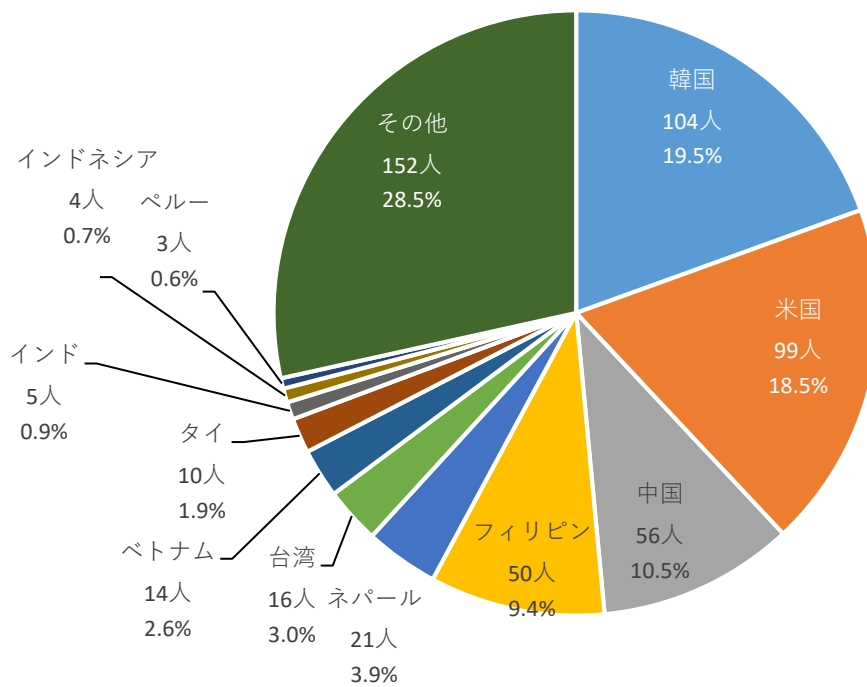
逗子市総人口に対する外国人



(資料) 神奈川県「県内外国人統計 (令和4年1月1日現在)」

(資料) 総務課「町丁字別人口 (令和4年1月1日現在)」

外国人国別人口



(資料) 神奈川県「県内外国人統計 (令和4年1月1日現在)」

Ⅲ. 令和4年度社会増減による人口動態の状況

1. 集計の概要

1-1. 集計の目的とデータの留意点

(1) 集計の目的

逗子市人口ビジョン、逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標として「子育て世代を中心とした生産年齢人口層の転入促進、転出抑制」を掲げていることから、転入者・転出者の傾向を把握することを目的としている。

(2) 使用するデータと留意点

- ◆ 本集計を作成するに当たっては、デジタル推進課において抽出した住民基本台帳の転入者及び転出者のデータを使用する。
- ◆ 使用するデータは、以下5つのデータ
 - ① 転入者及び転出者の年齢
 - ② 転入元住所
 - ③ 転入先市内住所
 - ④ 転出先住所
 - ⑤ 転出元市内住所
- ◆ 抽出期間は、令和4年4月1日～令和5年3月31日
- ◆ 現在のシステムでは、人口動態実数として戸籍住民課が作成している統計値と同じ抽出をすることができない。一つの抽出期間に同一の者が転入と転出を繰り返した場合は最終の異動だけが抽出されるため、戸籍住民課の統計値と以下のようにずれが生じる。(例：4月2日に転入、4月10日に転出している場合、転出にのみ反映される。)

	転入者	転出者
本集計における数 ①	2,327 人	2,355 人
(参考) 戸籍住民課統計値 ②	2,360 人	2,395 人
①-②	-33 人	-40 人

1-2. 集計項目と地域別分類

(1) 集計項目

- ① 転入者の人数、年齢別、転入元地域別、転入先地域別の状況
- ② 転出者の人数、年齢別、転出先地域別、転出元地域別の状況
- ③ 社会増減の人数、年齢別、地域別の状況

(2) 地域別分類

- ◆ 地域別の分析は、地域を次のとおり分類して行う。

地 域	分 類
神奈川県内市町村	市町村単位（例：横須賀市、葉山町、清川村） ただし、政令市は区単位（例：横浜市西区）
東京都内の市区町村	東京都（例：三鷹市 → 東京都） ただし、特別区は区単位（例：大田区）
神奈川県・東京都 以外の市町村	道府県単位（例：浦安市 → 千葉県） ただし、政令市は区単位（例：千葉市緑区）
外国	国単位（例：アメリカ合衆国）

1-3. 集計結果の要約

(1) 転入

- 令和4年度の転入者数は2,327人
- 年齢階級別の構成比率の上位4区分である、25歳から44歳までの年齢階級が約半数を占めている。
- 「横須賀市」「鎌倉市」「葉山町」「横浜市金沢区」などの、本市に接している自治体からの転入が多い。「世田谷区」「大田区」「品川区」「目黒区」など神奈川県に近接している東京都特別区のエリアからの転入者が多い点も特徴的である。
- 「小坪1丁目」「沼間2丁目」「久木8丁目」などの地域への転入が多い。

(2) 転出

- 令和4年度の転出者数は2,355人
- 年齢階級別の構成比率の上位4区分である、20歳から39歳までの年齢階級が約半数を占めている。
- 「横須賀市」「鎌倉市」「葉山町」「横浜市金沢区」などの、本市に接している地域への転出が多い。また、「アメリカ合衆国」への転出者も多い。
- 「久木8丁目」「池子2丁目」「沼間3丁目」などの地域からの転出が多い。

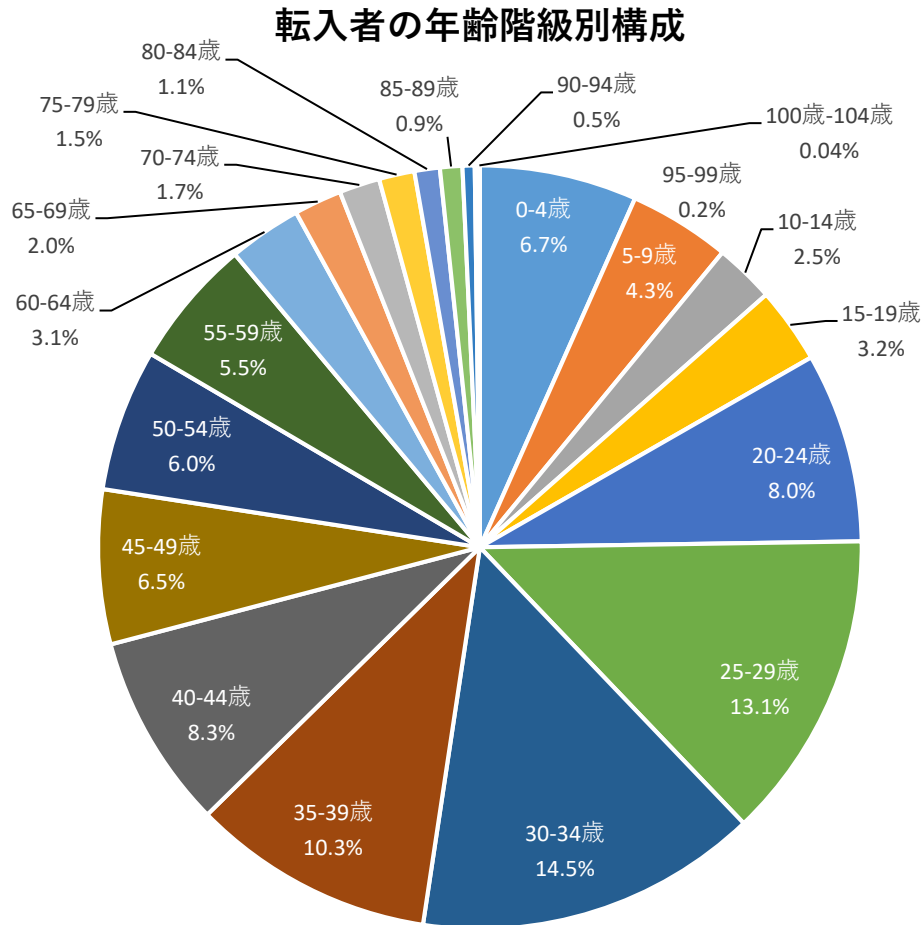
(3) 社会増減

- 本市にとって転入超過となっている地域は、「世田谷区」「品川区」「大田区」「目黒区」など、東京都特別区の神奈川県に近接しているエリアが多い。
- 本市にとって転出超過となっている地域のうち、最も転出者数が多い地域は「横須賀市」である。

2. 転入者データの集計

2-1. 年齢の状況 ～ 何歳の方が転入してきたか ～

- ◆ 転入者の年齢をみると、5歳ごとの年齢階級別の構成比率では「30～34歳」が14.5%と最も多く、次に「25～29歳」が13.1%となっている。構成比率の上位4区分である25歳から44歳までの年齢階級を合わせると46.2%と、全体の半数近くを占めており、若い世代の生産年齢人口層が多くなっている。



(N=2,327)

転入者の年齢階級別構成比率（上位5位）

順位	年齢階級	構成比率
1位	30～34歳	14.5%
2位	25～29歳	13.1%
3位	35～39歳	10.3%
4位	40～44歳	8.3%
5位	20～24歳	8.0%

2-2. 転入元地域の状況 ～ どこから転入してきたか ～

- ◆ 転入者の転入前の住所地である転入元地域をみると、本市への転入者が多い地域としては「横須賀市」が145人と最も多い。
- ◆ 本市に接している市町村からの転入者は、「鎌倉市」が134人、「葉山町」が79人、「横浜市金沢区」が69人で、横須賀市からの転入者と合わせると、転入者全体の約2割を占めている。
- ◆ 「アメリカ合衆国」からの転入者も70人と多くなっている。
- ◆ そのほか、「世田谷区」82人、「品川区」60人、「大田区」50人、「目黒区」43人と、これら東京都特別区の神奈川県に近接しているエリアからの転入者は、転入者全体の約1割を占めている。

転入元地域別の転入者数（転入者数が多い上位20位）

順位	地域	人数（人）
1位	横須賀市	145
2位	鎌倉市	134
3位	世田谷区	82
4位	葉山町	79
5位	東京都	73
6位	アメリカ合衆国	70
7位	横浜市金沢区	69
8位	藤沢市	65
9位	品川区	60
10位	千葉県	54
11位	大田区	50
12位	目黒区	43
13位	横浜市神奈川区	42
14位	川崎市中原区	42
15位	港区	41
16位	法30条の46*	37
17位	横浜市栄区	36
18位	埼玉県	36
19位	杉並区	36
20位	横浜市戸塚区	33

*法30条の46：国外から転入した外国人。

(N=2,327)

Ⅲ. 令和4年度社会増減による人口動態の状況

2-3. 転入元地域別の年齢状況 ～ どこから何歳の人が転入してきたか ～

- ◆ 年齢階級別の構成比率の上位4区分である25歳から44歳までの割合の合計は、「川崎市中原区」で69.2%、「世田谷区」で66.0%、「渋谷区」で63.7%、「杉並区」で62.3%、「目黒区」で61.5%となっており、これらの地域からの転入者数の割合が「総計」の49.0%に比べ多くなっている。
- ◆ 「アメリカ合衆国」からの転入者は、14歳以下の年齢階級で割合が多くなっている。

転入元地域別の年齢階級別転入者数（転入者数が多い上位20位）

※上段：実数

下段：各転入元における各年齢階級の構成比
(小数点以下第2位を四捨五入)

転入者の多い年齢階級上位4階級



転入元	年齢																				総計
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～100歳	
横須賀市	7	5	5	4	13	33	25	11	4	10	8	8	3	0	3	3	0	1	1	1	145
	4.8%	3.4%	3.4%	2.8%	9.0%	22.8%	17.2%	7.6%	2.8%	6.9%	5.5%	5.5%	2.1%	0.0%	2.1%	2.1%	0.0%	0.7%	0.7%	0.7%	100.0%
鎌倉市	8	3	2	8	10	10	14	14	14	9	7	11	4	3	6	4	4	2	1	0	134
	6.0%	2.2%	1.5%	6.0%	7.5%	7.5%	10.4%	10.4%	10.4%	6.7%	5.2%	8.2%	3.0%	2.2%	4.5%	3.0%	3.0%	1.5%	0.7%	0.0%	100.0%
世田谷区	5	1	1	1	4	11	18	12	11	8	6	1	0	1	1	1	0	0	0	0	82
	6.1%	1.2%	1.2%	1.2%	4.9%	13.4%	22.0%	14.6%	13.4%	9.8%	7.3%	1.2%	0.0%	1.2%	1.2%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
葉山町	2	4	3	1	10	5	8	6	4	8	8	7	4	1	2	2	1	3	0	0	79
	2.5%	5.1%	3.8%	1.3%	12.7%	6.3%	10.1%	7.6%	5.1%	10.1%	10.1%	8.9%	5.1%	1.3%	2.5%	2.5%	1.3%	3.8%	0.0%	0.0%	100.0%
東京都	3	4	2	3	11	3	10	13	7	3	5	2	2	2	1	2	0	0	0	0	73
	4.1%	5.5%	2.7%	4.1%	15.1%	4.1%	13.7%	17.8%	9.6%	4.1%	6.8%	2.7%	2.7%	2.7%	1.4%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
アメリカ合衆国	8	15	6	4	2	2	3	6	12	6	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	70
	11.4%	21.4%	8.6%	5.7%	2.9%	2.9%	4.3%	8.6%	17.1%	8.6%	5.7%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
横浜市金沢区	7	3	6	0	2	11	14	4	5	9	2	3	1	0	0	0	2	0	0	0	69
	10.1%	4.3%	8.7%	0.0%	2.9%	15.9%	20.3%	5.8%	7.2%	13.0%	2.9%	4.3%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
藤沢市	7	1	0	1	2	10	7	12	2	7	1	4	2	2	1	1	2	1	1	1	65
	10.8%	1.5%	0.0%	1.5%	3.1%	15.4%	10.8%	18.5%	3.1%	10.8%	1.5%	6.2%	3.1%	3.1%	1.5%	1.5%	3.1%	1.5%	1.5%	1.5%	100.0%
品川区	9	1	1	2	3	3	11	9	12	6	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	60
	15.0%	1.7%	1.7%	3.3%	5.0%	5.0%	18.3%	15.0%	20.0%	10.0%	0.0%	3.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
千葉県	3	1	1	0	5	6	13	6	3	1	5	1	2	1	1	3	1	1	0	0	54
	5.6%	1.9%	1.9%	0.0%	9.3%	11.1%	24.1%	11.1%	5.6%	1.9%	9.3%	1.9%	3.7%	1.9%	1.9%	5.6%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%
大田区	4	2	1	0	4	12	8	4	3	3	2	2	3	0	0	0	0	1	1	0	50
	8.0%	4.0%	2.0%	0.0%	8.0%	24.0%	16.0%	8.0%	6.0%	6.0%	4.0%	4.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	0.0%	100.0%
目黒区	3	1	3	1	1	4	3	6	8	4	3	4	2	0	0	0	0	0	0	0	43
	7.0%	2.3%	7.0%	2.3%	2.3%	9.3%	7.0%	14.0%	18.6%	9.3%	7.0%	9.3%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
川崎市中原区	2	4	3	1	4	5	7	6	3	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	42
	4.8%	9.5%	7.1%	2.4%	9.5%	11.9%	16.7%	14.3%	7.1%	4.8%	9.5%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
横浜市神奈川区	5	3	1	0	0	5	6	10	2	2	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0	42
	11.9%	7.1%	2.4%	0.0%	0.0%	11.9%	14.3%	23.8%	4.8%	4.8%	4.8%	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
港区	1	2	0	2	5	4	6	3	1	3	3	2	2	3	2	1	1	0	0	0	41
	2.4%	4.9%	0.0%	4.9%	12.2%	9.8%	14.6%	7.3%	2.4%	7.3%	7.3%	4.9%	4.9%	7.3%	4.9%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
法30条の46*	0	0	1	10	6	3	5	3	2	0	1	2	1	2	1	0	0	0	0	0	37
	0.0%	0.0%	2.7%	27.0%	16.2%	8.1%	13.5%	8.1%	5.4%	0.0%	2.7%	5.4%	2.7%	5.4%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
横浜市栄区	3	1	0	3	6	4	7	4	2	2	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	36
	8.3%	2.8%	0.0%	8.3%	16.7%	11.1%	19.4%	11.1%	5.6%	5.6%	0.0%	2.8%	5.6%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
杉並区	2	2	0	0	1	7	6	2	5	2	2	3	2	1	1	0	0	0	0	0	36
	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	2.8%	19.4%	16.7%	5.6%	13.9%	5.6%	5.6%	8.3%	5.6%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
埼玉県	1	0	0	1	4	8	3	3	0	1	2	2	4	3	2	0	1	1	0	0	36
	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	11.1%	22.2%	8.3%	8.3%	0.0%	2.8%	5.6%	5.6%	11.1%	8.3%	5.6%	0.0%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	100.0%
横浜市戸塚区	2	2	1	0	8	2	2	6	0	2	2	3	1	0	0	0	0	1	1	0	33
	6.1%	6.1%	3.0%	0.0%	24.2%	6.1%	6.1%	18.2%	0.0%	6.1%	6.1%	9.1%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	3.0%	0.0%	100.0%
総計	155	100	59	75	187	305	338	239	192	152	140	127	72	47	40	35	25	22	12	5	2327
	6.7%	4.3%	2.5%	3.2%	8.0%	13.1%	14.5%	10.3%	8.3%	6.5%	6.0%	5.5%	3.1%	2.0%	1.7%	1.5%	1.1%	0.9%	0.5%	0.2%	100.0%

(凡例)

20.0%～	
15.0～19.9%	
10.0～14.9%	
0～9.9%	

* 法30条の46：国外から転入した外国人。

転入元地域別の年齢階級上位4階級（25～44歳）の割合

転入元地域	25歳から44歳までの割合
横須賀市	50.3%
鎌倉市	38.8%
世田谷区	63.4%
葉山町	29.1%
東京都	45.2%
アメリカ合衆国	32.9%
横浜市金沢区	49.3%
藤沢市	47.7%
品川区	58.3%
千葉県	51.9%
大田区	54.0%
目黒区	48.8%
川崎市中原区	50.0%
横浜市神奈川区	54.8%
港区	34.1%
法30条の46*	35.1%
横浜市栄区	47.2%
杉並区	55.6%
埼玉県	38.9%
横浜市戸塚区	30.3%
総計	46.2%

* 法30条の46：国外から転入した外国人。

2-4. 転入先地域の状況

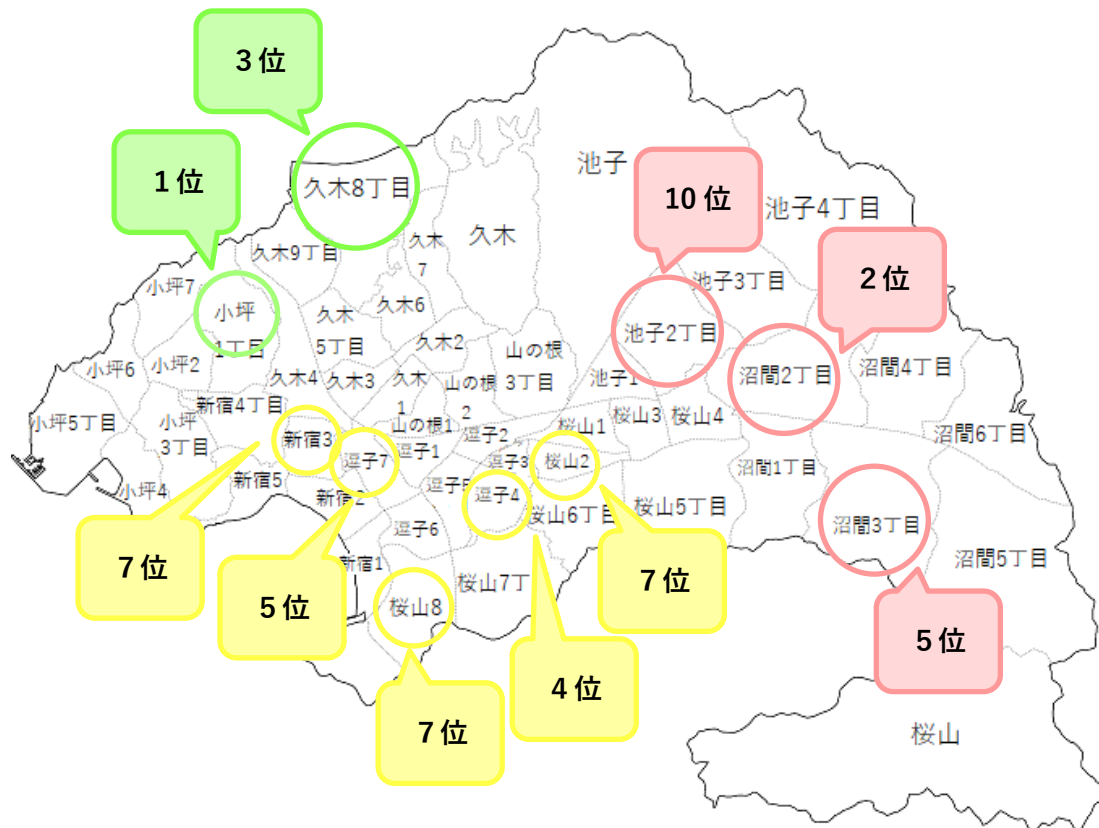
(1) 転入先地域別の転入者数～ どの地域（町丁目）に転入してきたか～

- ◆ 市内の転入先地域について、転入者数の多い地域（町丁目）の上位10位をみると、「小坪1丁目」が114人で最も多くなっている。
- ◆ 市の東エリアについては、「沼間2丁目」108人、「沼間3丁目」85人となっており、転入者が多い地域となっている。
- ◆ 市の中心部や逗子海岸隣接エリアについても、「逗子4丁目」87人、「逗子7丁目」70人、と転入者が多くなっている。

転入先地域別の転入者数（転入者が多い上位10位）

順位	転入先地域	人数（人）
1位	小坪1丁目	114
2位	沼間2丁目	108
3位	久木8丁目	107
4位	逗子4丁目	87
5位	逗子7丁目	85
5位	沼間3丁目	85
7位	桜山2丁目	70
	桜山8丁目	70
	新宿3丁目	70
10位	池子2丁目	69

(N=2,327)



Ⅲ. 令和4年度社会増減による人口動態の状況

(2) 転入先地域別の転入者の年齢状況 ～ どの地域(字)に何歳の人
が転入してきたか～

- ◆ 市内の転入先地域(字)について、「池子ヒルズ」は、0歳から14歳までの割合が半数を占めている。
- ◆ 「沼間」は、25歳から29歳までの割合が18.7%と多くなっている。
- ◆ 年齢階級別の構成比率の上位4区分である25歳から44歳までの割合の合計は、「逗子」で52.8%となっており、転入者数の割合が「総計」の46.2%に比べ多くなっている。

転入先地域別の年齢階級別転入者数

転入者の多い年齢階級上位4階級

※上段：実数

下段：各転入先における各年齢階級の構成比
(小数点以下第2位を四捨五入)

転入先	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～100歳	総計
久木	32	26	10	10	26	54	68	39	35	28	29	15	12	7	6	1	5	2	4	1	410
	7.8%	6.3%	2.4%	2.4%	6.3%	13.2%	16.6%	9.5%	8.5%	6.8%	7.1%	3.7%	2.9%	1.7%	1.5%	0.2%	1.2%	0.5%	1.0%	0.2%	100.0%
山の根	5	6	4	8	13	17	21	9	14	10	7	8	2	4	2	5	1	0	1	1	138
	3.6%	4.3%	2.9%	5.8%	9.4%	12.3%	15.2%	6.5%	10.1%	7.2%	5.1%	5.8%	1.4%	2.9%	1.4%	3.6%	0.7%	0.0%	0.7%	0.7%	100.0%
池子	5	6	5	3	9	20	18	14	13	11	6	9	5	1	3	1	3	2	0	0	134
	3.7%	4.5%	3.7%	2.2%	6.7%	14.9%	13.4%	10.4%	9.7%	8.2%	4.5%	6.7%	3.7%	0.7%	2.2%	0.7%	2.2%	1.5%	0.0%	0.0%	100.0%
池子ヒルズ*	6	4	0	0	1	2	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	5.0%	10.0%	10.0%	20.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
沼間	20	15	6	5	32	59	50	32	13	16	20	14	12	3	4	4	4	2	4	1	316
	6.3%	4.7%	1.9%	1.6%	10.1%	18.7%	15.8%	10.1%	4.1%	5.1%	6.3%	4.4%	3.8%	0.9%	1.3%	1.3%	1.3%	0.6%	1.3%	0.3%	100.0%
桜山	31	11	13	19	46	59	71	55	40	24	21	24	9	9	2	5	4	4	2	0	449
	6.9%	2.4%	2.9%	4.2%	10.2%	13.1%	15.8%	12.2%	8.9%	5.3%	4.7%	5.3%	2.0%	2.0%	0.4%	1.1%	0.9%	0.9%	0.4%	0.0%	100.0%
逗子	27	14	8	10	25	47	58	44	41	26	19	16	5	5	7	3	0	4	1	0	360
	7.5%	3.9%	2.2%	2.8%	6.9%	13.1%	16.1%	12.2%	11.4%	7.2%	5.3%	4.4%	1.4%	1.4%	1.9%	0.8%	0.0%	1.1%	0.3%	0.0%	100.0%
新宿	7	7	5	7	18	24	18	18	16	11	10	12	7	4	3	4	1	5	0	1	178
	3.9%	3.9%	2.8%	3.9%	10.1%	13.5%	10.1%	10.1%	9.0%	6.2%	5.6%	6.7%	3.9%	2.2%	1.7%	2.2%	0.6%	2.8%	0.0%	0.6%	100.0%
小坪	22	11	8	13	17	23	32	24	19	26	28	29	20	14	13	12	7	3	0	0	321
	6.9%	3.4%	2.5%	4.0%	5.3%	7.2%	10.0%	7.5%	5.9%	8.1%	8.7%	9.0%	6.2%	4.4%	4.0%	3.7%	2.2%	0.9%	0.0%	0.0%	100.0%
総計	155	100	59	75	187	305	338	239	192	152	140	127	72	47	40	35	25	22	12	4	2326
	6.7%	4.3%	2.5%	3.2%	8.0%	13.1%	14.5%	10.3%	8.3%	6.5%	6.0%	5.5%	3.1%	2.0%	1.7%	1.5%	1.1%	0.9%	0.5%	0.2%	100.0%

(凡例)

20.0%～	
15.0～19.9%	
10.0～14.9%	
0～9.9%	

* 池子ヒルズ：池子住宅地区及び海軍補助施設のエリア。

転入先地域別の年齢階級上位4階級（25～44歳）の割合

転入先地域	25～44歳までの割合
逗子	52.8%
桜山	50.1%
沼間	48.7%
池子	48.5%
久木	47.8%
池子ヒルズ	45.0%
山の根	44.2%
新宿	42.7%
小坪	30.5%
総計	46.2%

(3) 転入元地域別の転入先地域の状況 ～ どこからどの地域(字)に転入してきたか ～

- ◆ 転入元地域(転入者数上位10位)別に市内の転入先地域(字)の状況をみると、最も転入者の多い横須賀市からの転入先地域は「沼間」が26.9%と最も多く、次に「桜山」が24.8%と多い。
- ◆ 転入者の転入先地域は、全体では「桜山」の割合が多く、中でも葉山町からの転入者が41.8%と、特に多くなっている。

転入先地域別の転入元地域別転入者数(転入者が多い上位10地域)

※上段:実数

下段:各転入元における各転入先の構成比
(小数点以下第2位を四捨五入)

転入先 転入元	久木	山の根	池子	池子ヒルズ*	沼間	桜山	逗子	新宿	小坪	総計
横須賀市	22	7	10	1	39	36	6	10	14	145
	15.2%	4.8%	6.9%	0.7%	26.9%	24.8%	4.1%	6.9%	9.7%	100.0%
鎌倉市	18	7	2	0	9	22	22	10	44	134
	13.4%	5.2%	1.5%	0.0%	6.7%	16.4%	16.4%	7.5%	32.8%	100.0%
世田谷区	21	2	2	0	1	15	15	8	18	82
	25.6%	2.4%	2.4%	0.0%	1.2%	18.3%	18.3%	9.8%	22.0%	100.0%
葉山町	14	3	8	0	11	24	14	4	1	79
	17.7%	3.8%	10.1%	0.0%	13.9%	30.4%	17.7%	5.1%	1.3%	100.0%
東京都	8	9	7	0	12	16	6	6	9	73
	11.0%	12.3%	9.6%	0.0%	16.4%	21.9%	8.2%	8.2%	12.3%	100.0%
アメリカ合衆国	14	7	2	12	10	6	9	2	8	70
	20.0%	10.0%	2.9%	17.1%	14.3%	8.6%	12.9%	2.9%	11.4%	100.0%
横浜市金沢区	10	5	8	0	18	14	8	1	5	69
	14.5%	7.2%	11.6%	0.0%	26.1%	20.3%	11.6%	1.4%	7.2%	100.0%
藤沢市	14	2	3	0	3	8	14	8	13	65
	21.5%	3.1%	4.6%	0.0%	4.6%	12.3%	21.5%	12.3%	20.0%	100.0%
品川区	9	4	3	0	4	11	18	7	4	60
	15.0%	6.7%	5.0%	0.0%	6.7%	18.3%	30.0%	11.7%	6.7%	100.0%
千葉県	18	3	3	1	7	11	4	1	6	54
	33.3%	5.6%	5.6%	1.9%	13.0%	20.4%	7.4%	1.9%	11.1%	100.0%
総計	410	138	134	20	316	449	360	178	322	2327
	17.6%	5.9%	5.8%	0.9%	13.6%	19.3%	15.5%	7.6%	13.8%	100.0%

(凡例)

25.0%～	
20.0～24.9%	
15.0～19.9%	
0～14.9%	

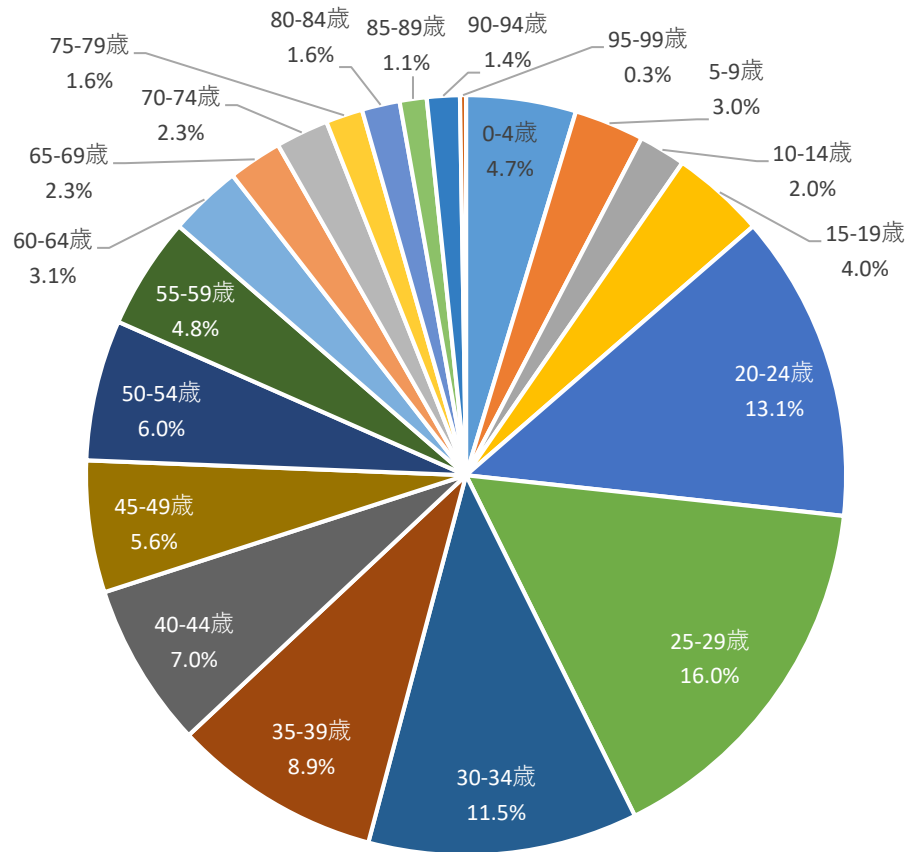
* 池子ヒルズ: 池子住宅地区及び海軍補助施設のエリア。

3. 転出者データの集計

3-1. 年齢の状況 ～ 何歳の方が転出したか ～

- ◆ 転出者の年齢をみると、5歳ごとの年齢階級別の構成比率では「25～29歳」が16.0%で最も多く、次に「20～24歳」が13.1%、「30～34歳」が11.5%、「35～39歳」が8.9%と続き、20歳から39歳までの若い世代の生産年齢人口層が全体の約半数を占めている。

転出者の年齢階級別構成



(N=2,355)

転出者の年齢階級別構成比率（上位5位）

順位	年齢階級	構成比率
1位	25～29歳	16.0%
2位	20～24歳	13.1%
3位	30～34歳	11.5%
4位	35～39歳	8.9%
5位	40～44歳	7.0%

3-2. 転出先地域の状況 ～ どこへ転出したか ～

- ◆ 転出者の転出後の住所地である転出先地域をみると、「横須賀市」が206人と最も多く、次に「鎌倉市」が130人、「葉山町」が109人、「横浜市金沢区」が77人と、本市に接している市町村への転出者が転出者全体の2割以上を占めている。
- ◆ 「アメリカ合衆国」への転出が全体で4番目と多くなっている。

転出先地域別の転出者数（転出者数が30人以上の地域）

順位	地域名	人数（人）
1位	横須賀市	206
2位	鎌倉市	130
3位	葉山町	109
4位	アメリカ合衆国	93
5位	藤沢市	83
6位	横浜市金沢区	77
7位	東京都	67
8位	千葉県	48
9位	埼玉県	46
10位	横浜市栄区	45
11位	横浜市戸塚区	44
12位	静岡県	41
13位	世田谷区	40
14位	川崎市中原区	39
15位	横浜市南区	36
16位	横浜市港北区	34
17位	沖縄県	33
18位	横浜市磯子区	31
19位	茅ヶ崎市	30

(N=2,355)

Ⅲ. 令和4年度社会増減による人口動態の状況

3-3. 転出先地域別の年齢状況 ～ どこへ何歳の人が転出したか ～

- ◆ 転出者数が30人以上の転出先地域について、本市に接している市町村への転出者数の割合をみると、他の市町村に比べて幅広い年齢階級が転出している傾向がある。
- ◆ 年齢階級別の構成比率の上位5区分である20歳から44歳までの割合の合計は、「川崎市中原区」で76.9%、「横浜市戸塚区」で61.4%となっており、転出者数の割合が「総計」の45.0%に比べ1.3倍以上になっている。

転出先地域別の年齢階級別転出者数（転出者数が30人以上の地域）

転出者の多い年齢階級上位5階級

※上段：実数

下段：各転出先における各年齢階級の構成比
(小数点以下第2位を四捨五入)

転出先	年齢	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	総計
横須賀市	実数	19	11	2	15	15	22	17	21	18	12	17	10	8	5	5	4	1		3	1	206
	構成比	9.2%	5.3%	1.0%	7.3%	7.3%	10.7%	8.3%	10.2%	8.7%	8.7%	8.3%	4.9%	3.9%	2.4%	2.4%	1.9%	0.5%	0.0%	1.5%	0.5%	100.0%
鎌倉市	実数	6	1	1	3	5	20	22	9	7	13	8	9	4	4	6	3	4	1	2	2	130
	構成比	4.6%	0.8%	0.8%	2.3%	3.8%	15.4%	16.9%	6.9%	5.4%	10.0%	6.2%	6.9%	3.1%	3.1%	4.6%	2.3%	3.1%	0.8%	1.5%	1.5%	100.0%
葉山町	実数	12	10			3	6	14	17	13	5	8	5	3		2	1	2	4	4		109
	構成比	11.0%	9.2%	0.0%	0.0%	2.8%	5.5%	12.8%	15.6%	11.9%	4.6%	7.3%	4.6%	2.8%	0.0%	1.8%	0.9%	1.8%	3.7%	3.7%	0.0%	100.0%
アメリカ合衆国	実数	6	8	16	11	6	5	4	4	10	8	5	7	2								93
	構成比	6.5%	8.6%	17.2%	11.8%	6.5%	5.4%	4.3%	4.3%	10.8%	8.6%	5.4%	7.5%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
藤沢市	実数	7	2	3		10	8	18	8	8	1	3	3	1	2	4	1	1			3	83
	構成比	8.4%	2.4%	3.6%	0.0%	12.0%	9.6%	21.7%	9.6%	9.6%	1.2%	3.6%	3.6%	1.2%	2.4%	4.8%	1.2%	1.2%	0.0%	3.6%	0.0%	100.0%
横浜市金沢区	実数	1	1	3	10	12	9	9	5	6	5	5	2	2	1	2	3	1	2	3		77
	構成比	1.3%	1.3%	0.0%	3.9%	13.0%	15.6%	11.7%	11.7%	6.5%	7.8%	6.5%	2.6%	2.6%	1.3%	2.6%	3.9%	1.3%	2.6%	3.9%	0.0%	100.0%
東京都	実数	1	1	2	6	13	9	5	2	3	3	7	2	2	2	1	2	1	3	2		67
	構成比	1.5%	1.5%	3.0%	9.0%	19.4%	13.4%	7.5%	3.0%	4.5%	4.5%	10.4%	3.0%	3.0%	3.0%	1.5%	3.0%	1.5%	4.5%	3.0%	0.0%	100.0%
千葉県	実数	1	2		2	5	8	4	6	5	3	2	1	3	2	1				1	2	48
	構成比	2.1%	4.2%	0.0%	4.2%	10.4%	16.7%	8.3%	12.5%	10.4%	6.3%	4.2%	2.1%	6.3%	4.2%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	4.2%	100.0%
埼玉県	実数	2		1	2	3	12	6	2	6		3	3	2	2	1				1		46
	構成比	4.3%	0.0%	2.2%	4.3%	6.5%	26.1%	13.0%	4.3%	13.0%	0.0%	6.5%	6.5%	4.3%	4.3%	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	100.0%
横浜市栄区	実数	3			1	7	9	4	2		2	2	2	2	4	3	1	3		2		45
	構成比	6.7%	0.0%	0.0%	2.2%	15.6%	20.0%	8.9%	4.4%	0.0%	4.4%	4.4%	4.4%	8.9%	6.7%	2.2%	6.7%	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	100.0%
横浜市戸塚区	実数	2	1	1	1	3	13	6	5	1	1	4	1	1	2				1	1		44
	構成比	4.5%	2.3%	2.3%	2.3%	6.8%	29.5%	13.6%	11.4%	2.3%	2.3%	9.1%	2.3%	2.3%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	2.3%	0.0%	100.0%
静岡県	実数	4	2			2	5	3	7	1	2	4		2	2	2		4		1		41
	構成比	9.8%	4.9%	0.0%	0.0%	4.9%	12.2%	7.3%	17.1%	2.4%	4.9%	9.8%	0.0%	4.9%	4.9%	4.9%	0.0%	9.8%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%
世田谷区	実数	2	1	1		7	9	4	3	4	2	2	3			1				1		40
	構成比	5.0%	2.5%	2.5%	0.0%	17.5%	22.5%	10.0%	7.5%	10.0%	5.0%	5.0%	7.5%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	100.0%
川崎市中原区	実数	2		1		12	10	3	5	1	1	1	1					1	1			39
	構成比	5.1%	0.0%	2.6%	0.0%	30.8%	25.6%	7.7%	12.8%	2.6%	2.6%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	100.0%
横浜市南区	実数	1	1		2	6	7	4	5	2	1	3	1		2	1						36
	構成比	2.8%	2.8%	0.0%	5.6%	16.7%	19.4%	11.1%	13.9%	5.6%	2.8%	8.3%	2.8%	0.0%	5.6%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
横浜市港北区	実数	2			2	5	7	6	1	1	3	2	1	1		1	1	1				34
	構成比	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	14.7%	20.6%	17.6%	2.9%	2.9%	8.8%	5.9%	2.9%	2.9%	0.0%	2.9%	2.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
沖縄県	実数	7	2		1	2	3	5	2	4	1		3	1			1			1		33
	構成比	21.2%	6.1%	0.0%	3.0%	6.1%	9.1%	15.2%	6.1%	12.1%	3.0%	0.0%	9.1%	3.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	100.0%
横浜市磯子区	実数			1	1	7	4	4	1	2	1	3	2	2			2	1				31
	構成比	0.0%	0.0%	3.2%	3.2%	22.6%	12.9%	12.9%	3.2%	6.5%	3.2%	9.7%	6.5%	6.5%	0.0%	0.0%	6.5%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
茅ヶ崎市	実数	2				2	3	8	4	3		2	3			1	1	1				30
	構成比	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	10.0%	26.7%	13.3%	10.0%	0.0%	6.7%	10.0%	0.0%	0.0%	3.3%	3.3%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
総計	実数	80	43	29	50	123	172	146	113	94	65	81	59	38	27	29	22	19	17	20	5	1232
	構成比	6.5%	3.5%	2.4%	4.1%	10.0%	14.0%	11.9%	9.2%	7.6%	5.3%	6.6%	4.8%	3.1%	2.2%	2.4%	1.8%	1.5%	1.4%	1.6%	0.4%	100.0%

(凡例)

20.0%～	
15.0～19.9%	
10.0～14.9%	
0～9.9%	

転出先地域別の年齢階級上位5階級（20～44歳）の割合

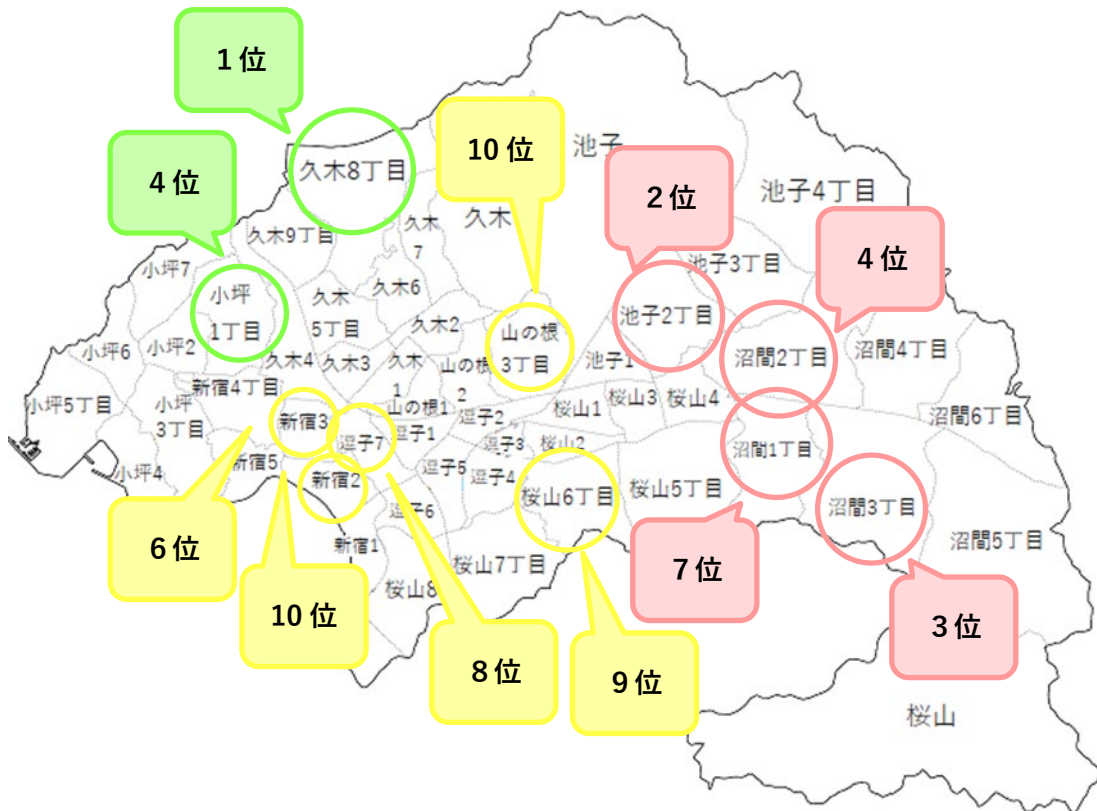
転出先地域	20～44歳までの割合
川崎市中原区	76.9%
横浜市戸塚区	61.4%
横浜市南区	61.1%
世田谷区	57.5%
茅ヶ崎市	56.7%
横浜市港北区	55.9%
藤沢市	53.0%
横浜市金沢区	51.9%
横浜市磯子区	51.6%
埼玉県	50.0%
横浜市栄区	48.9%
千葉県	47.9%
東京都	43.3%
鎌倉市	43.1%
静岡県	41.5%
葉山町	36.7%
横須賀市	36.4%
沖縄県	36.4%
アメリカ合衆国	20.4%
総計	45.0%

3-4. 転出元地域の状況 ～ どの地域（町丁目）から転出したか ～

- ◆ 転出前の住所地である市内の転出元地域別に、転出者数の多い地域（町丁目）の上位10位をみると、「久木8丁目」が121人で最も多くなっている。
- ◆ 「池子2丁目」105人、「沼間3丁目」87人、「沼間2丁目」82人、「沼間1丁目」73人と、市の東エリアからの転出者が多くなっている。
- ◆ 市の中心部や逗子海岸隣接エリアについても、「新宿3丁目」62人、「逗子7丁目」67人となっており、転出者の多い地域となっている。

転出元地域別の転出者数（転出者数が多い上位10地域）

順位	転出元地域	人数（人）
1位	久木8丁目	121
2位	池子2丁目	105
3位	沼間3丁目	87
4位	小坪1丁目	82
	沼間2丁目	82
6位	新宿3丁目	74
7位	沼間1丁目	73
8位	逗子7丁目	67
9位	桜山6丁目	64
10位	山の根3丁目	63
	新宿2丁目	63



4. 社会増減の状況

4-1. 社会増減数

- ◆ 転入者数と転出者数の比較による社会増減の状況をみると、転入者と転出者の差は28人となっていて、転入者が転出者を下回る「社会減」の状態となっている。

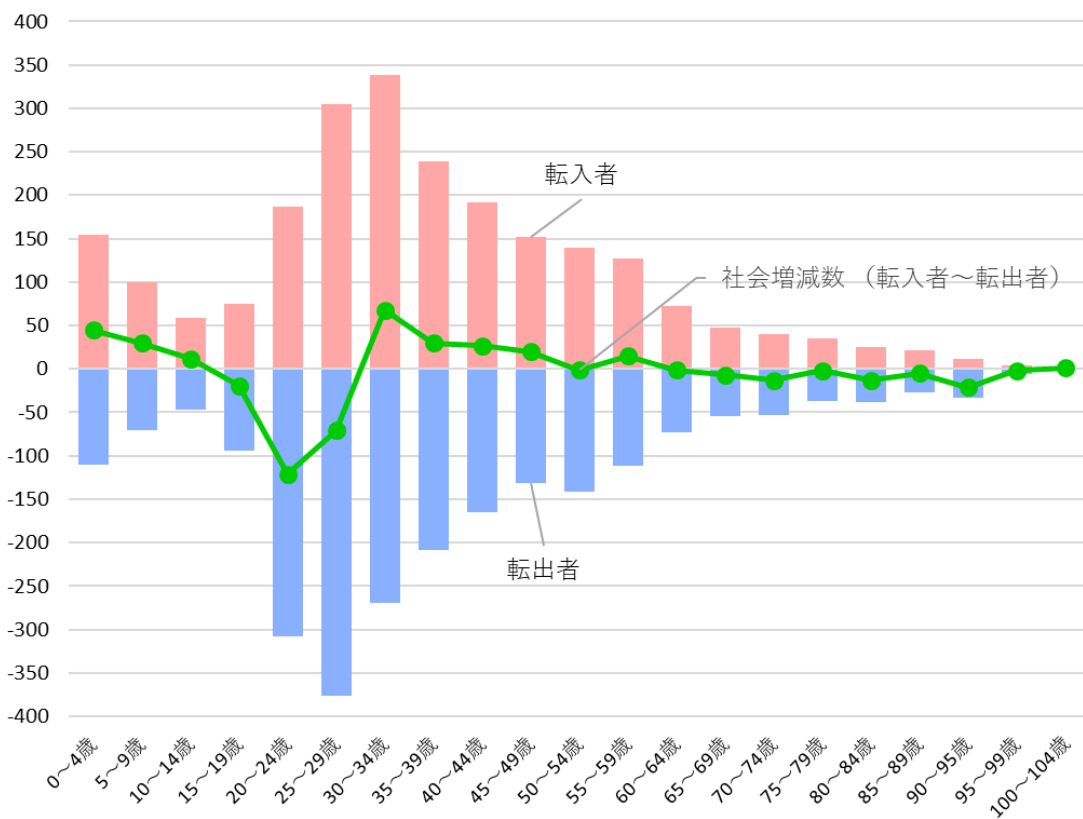
社会増減数

社会増減数 (人) (転入者－転出者)	転入者 (人)	転出者 (人)
-28	2,327	2,355

4-2. 社会増減の年齢状況

- ◆ 5歳ごとの年齢階級別に社会増減の状況をみると、転入者が転出者を上回る「社会増」となっている年齢階級としては、「35～39歳」の120人が最も多く、次に「40～44歳」の98人、「30～34歳」の79人と続いている。
- ◆ 一方、転出者数が転入者数を上回る「社会減」となっている年齢階級としては、「20～24歳」(-102人)で多くなっていて、これは進学や就職に起因するものと考えられる。

年齢階級別社会増減数



Ⅲ. 令和4年度社会増減による人口動態の状況

年齢階級別社会増減数

年齢階級	社会増減数 (転入者～転出者)	転入者 (人)	転出者 (人)
0～4 歳	45	155	110
5～9 歳	30	100	70
10～14 歳	12	59	47
15～19 歳	-19	75	94
20～24 歳	-121	187	308
25～29 歳	-71	305	376
30～34 歳	68	338	270
35～39 歳	30	239	209
40～44 歳	27	192	165
45～49 歳	20	152	132
50～54 歳	-1	140	141
55～59 歳	15	127	112
60～64 歳	-1	72	73
65～69 歳	-7	47	54
70～74 歳	-13	40	53
75～79 歳	-2	35	37
80～84 歳	-13	25	38
85～89 歳	-5	22	27
90～95 歳	-21	12	33
95～99 歳	-2	4	6
100～104 歳	1	1	0
合計	-28	2327	2355

4-3. 社会増減の地域別状況

- ◆ 社会増が15人以上の地域をみると、「世田谷区」、「品川区」、「大田区」、「目黒区」など東京都特別区の神奈川県に近接しているエリアが多い傾向がみられる。

社会増が15人以上の地域

地域	社会増減（人） （転入者－転出者）	転入者数 （人）	転出者数 （人）
世田谷区	42	82	40
品川区	31	60	29
大田区	30	50	20
目黒区	27	43	16
港区	26	41	15
杉並区	21	36	15
文京区	18	26	8
横浜市神奈川区	18	42	24

- ◆ 社会減が10人以上の地域については、「横須賀市」が61人と最も多く、それに次いで「葉山町」が30人、「沖縄県」が23人、「アメリカ合衆国」が23人となっている。

社会減が10人以上の地域

地域	社会増減（人） （転入者－転出者）	転入者数 （人）	転出者数 （人）
横須賀市	-61	145	206
葉山町	-30	79	109
沖縄県	-23	10	33
アメリカ合衆国	-23	70	93
平塚市	-18	7	25
藤沢市	-18	65	83
静岡県	-17	24	41
小田原市	-13	3	16
横浜市西区	-13	14	27
横浜市戸塚区	-11	33	44
埼玉県	-10	36	46
フィリピン	-10	1	11

4-4. 社会増減の市内の地域別状況

- ◆ 社会増が15人以上の市内地域については、「逗子4丁目」が33人と最も多くなっている。

社会増が15人以上の市内地域

地域	社会増減(人) (転入者-転出者)	転入者数 (人)	転出者数 (人)
逗子4丁目	33	87	54
小坪1丁目	32	114	82
沼間2丁目	26	108	82
逗子7丁目	18	85	67
桜山2丁目	17	70	53
沼間4丁目	16	36	20

- ◆ 社会減が10人以上の市内地域については、「池子2丁目」が36人と最も多くなっている。

社会減が10人以上の市内地域

地域	社会増減(人) (転入者-転出者)	転入者数 (人)	転出者数 (人)
池子2丁目	-36	69	105
池子ヒルズ	-29	20	49
沼間1丁目	-25	48	73
池子3丁目	-16	35	51
桜山6丁目	-15	49	64
久木8丁目	-14	107	121
新宿4丁目	-13	17	30
山の根1丁目	-13	25	38
桜山9丁目	-11	16	27
桜山3丁目	-10	33	43

IV. 令和4年度転入者・転出者アンケート集計結果

1. アンケート概要

1-1. アンケートの目的

まち・ひと・しごと創生の取組みを進めるため、転入転出の実態や意識等を把握する。

1-2. アンケートの項目

※詳細は、「4. 調査票」を参照。

(1) 転入者アンケート

- ・ 転入の事情、きっかけ
- ・ 逗子市を転入先として選んだ理由
- ・ 以前に逗子市に住んだ経験の有無
- ・ 逗子市にずっと住みたいと思うか

(2) 転出者アンケート

- ・ 転出の事情、きっかけ
- ・ 逗子市に住んでいてよかったと感じた事柄
- ・ 逗子市に住んでいて不便または不満を感じた事柄
- ・ 事情が許すのであれば、逗子市に戻りたいかどうか

1-3. アンケートの設計

項目	内容
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転入者及び転出者。 ・ 窓口で手続きに訪れた人のうち、1名が代表して記入することとし、世帯主であるか等は問わない。 ・ 代理人による手続きの場合は、対象外とする。
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ① 戸籍住民課窓口配布（自書式アンケート）－1階ロビー回収ボックスに投入 ② 市ホームページアンケートフォーム
調査期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

1-4. 回収結果

(1) 転入者アンケート

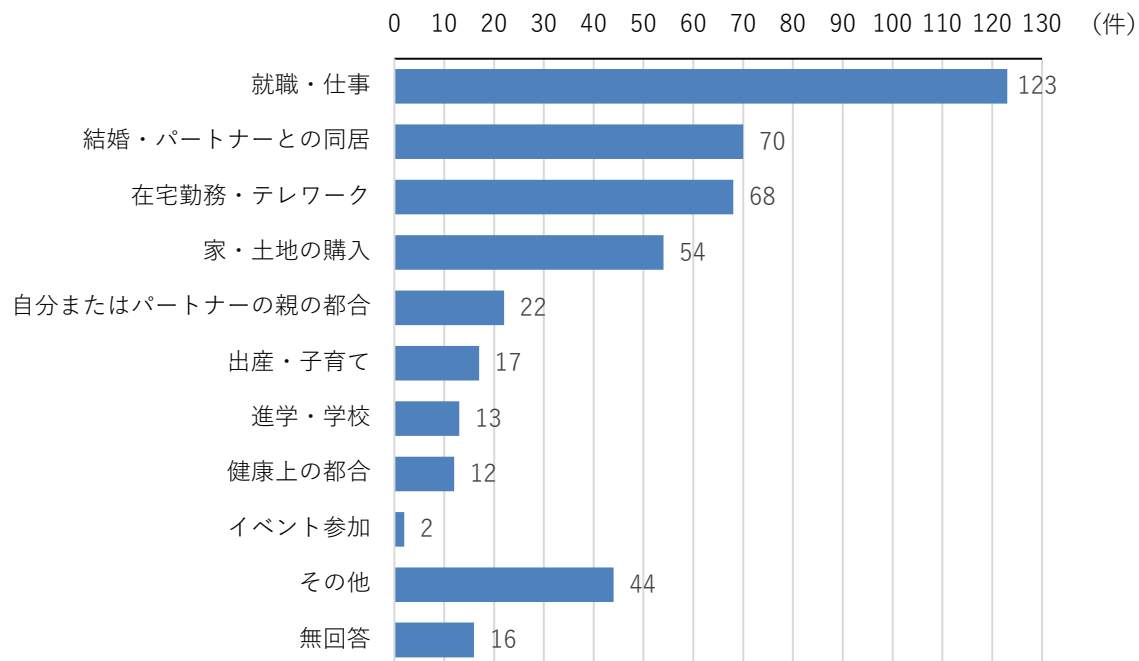
391件（全転入世帯1,854件に対する回収率：21.1%）

(2) 転出者アンケート

218件（全転出世帯1,566件に対する回収率：13.9%）

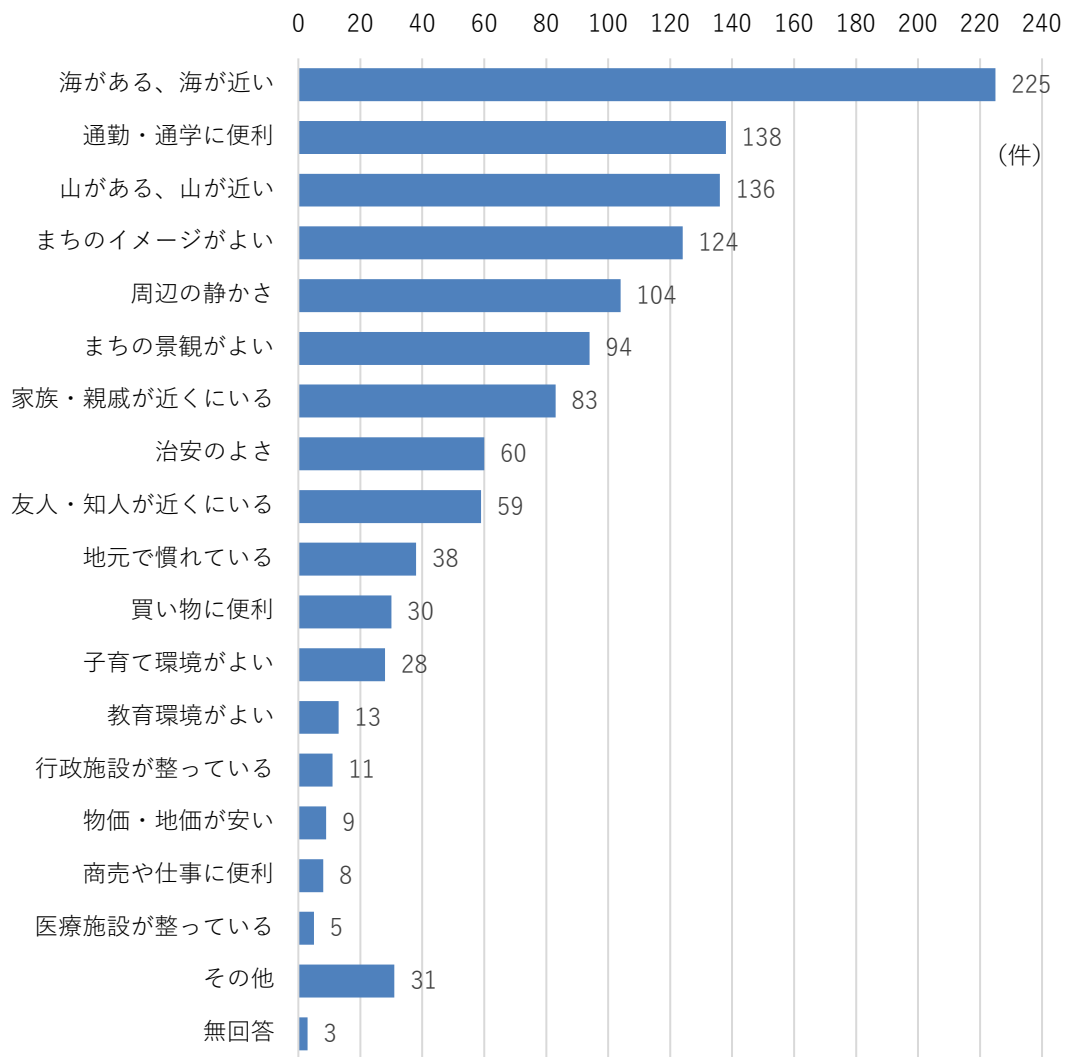
2. 市内転入者アンケート集計結果

2-1. 転入の事情、きっかけ（複数回答）



2-2. 逗子市を転入先として選んだ理由（複数回答）

(1) 全体



IV. 令和4年度転入者・転出者アンケート集計結果

(2) 年齢別

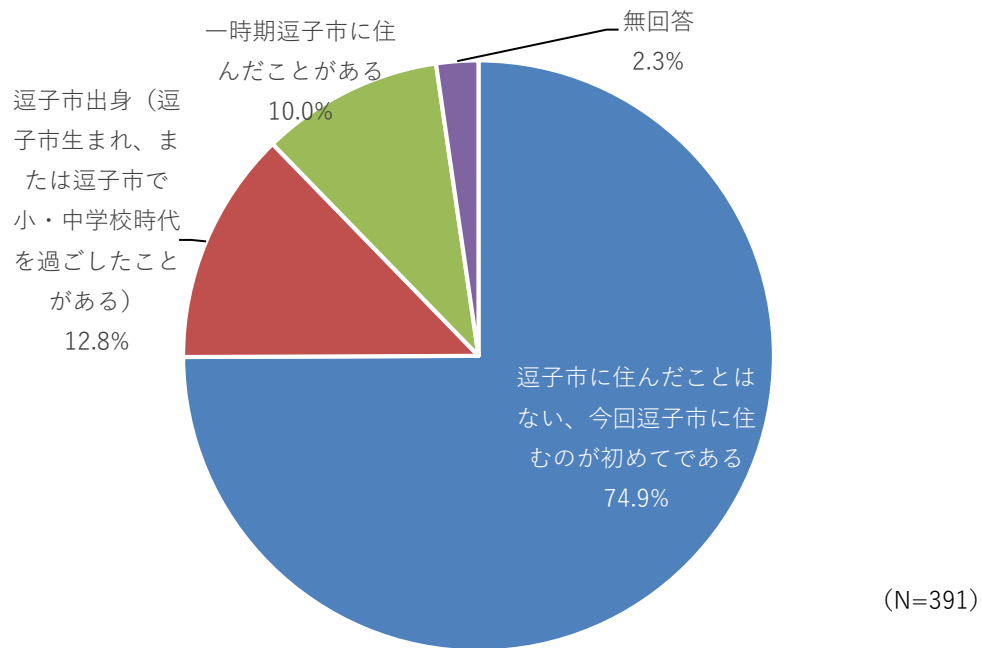
理由	年齢									合計
	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	
海がある、海が近い	6	52	65	48	31	11	8	2	2	225
通勤・通学に便利	8	39	41	27	19	4	0	0	0	138
山がある、山が近い	4	30	41	33	17	4	5	1	1	136
まちのイメージがよい	1	31	39	23	19	7	1	2	1	124
周辺の静かさ	1	27	32	19	15	4	3	1	2	104
まちの景観がよい	1	30	31	16	11	2	2	1	0	94
家族・親戚が近くにいる	6	25	17	8	8	4	9	6	0	83
治安のよさ	1	16	20	13	5	1	3	1	0	60
友人・知人が近くにいる	3	14	16	9	9	4	3	1	0	59
地元で慣れている	6	10	10	2	6	1	1	2	0	38
買い物に便利	2	5	7	6	5	1	3	1	0	30
子育て環境がよい	7	6	9	5	1	0	0	0	0	28
教育環境がよい	2	5	4	2	0	0	0	0	0	13
行政施設が整っている	0	0	4	3	3	0	0	0	1	11
物価・地価が安い	0	1	3	3	2	0	0	0	0	9
商売や仕事に便利	0	2	4	0	0	0	2	0	0	8
医療施設が整っている	1	1	0	1	1	0	0	1	0	5
その他	0	11	5	4	4	4	0	3	0	31
無回答	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3

(凡例)

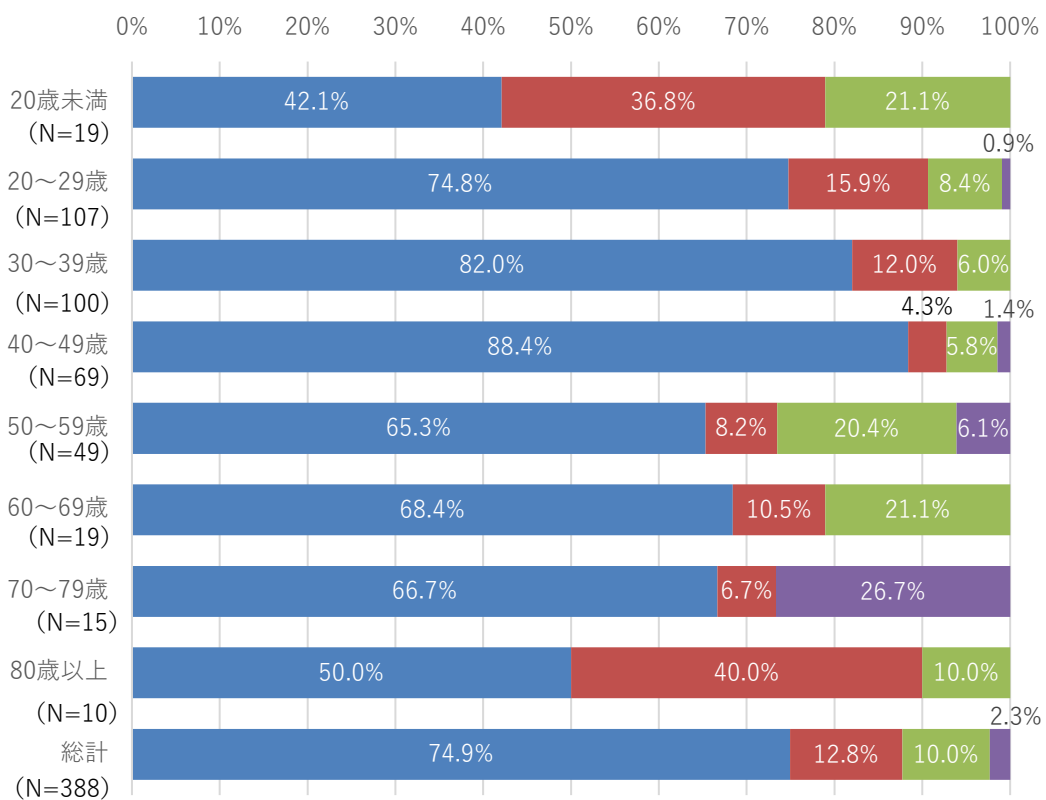
40～	
25～39	
10～24	
0～9	

2-3. 以前に逗子市に住んだ経験の有無（複数回答）

(1) 全体



(2) 年齢別

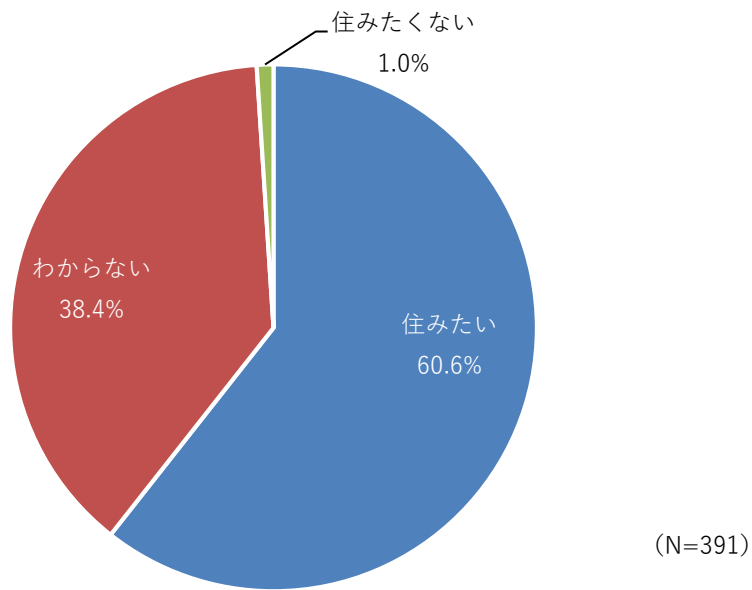


- 逗子市に住んだことはない、今回逗子市に住むのが初めてである
- 逗子市出身（逗子市生まれ、または逗子市で小・中学校時代を過ごしたことがある）
- 一時期逗子市に住んだことがある
- 無回答

(注) 年齢無回答を除く。

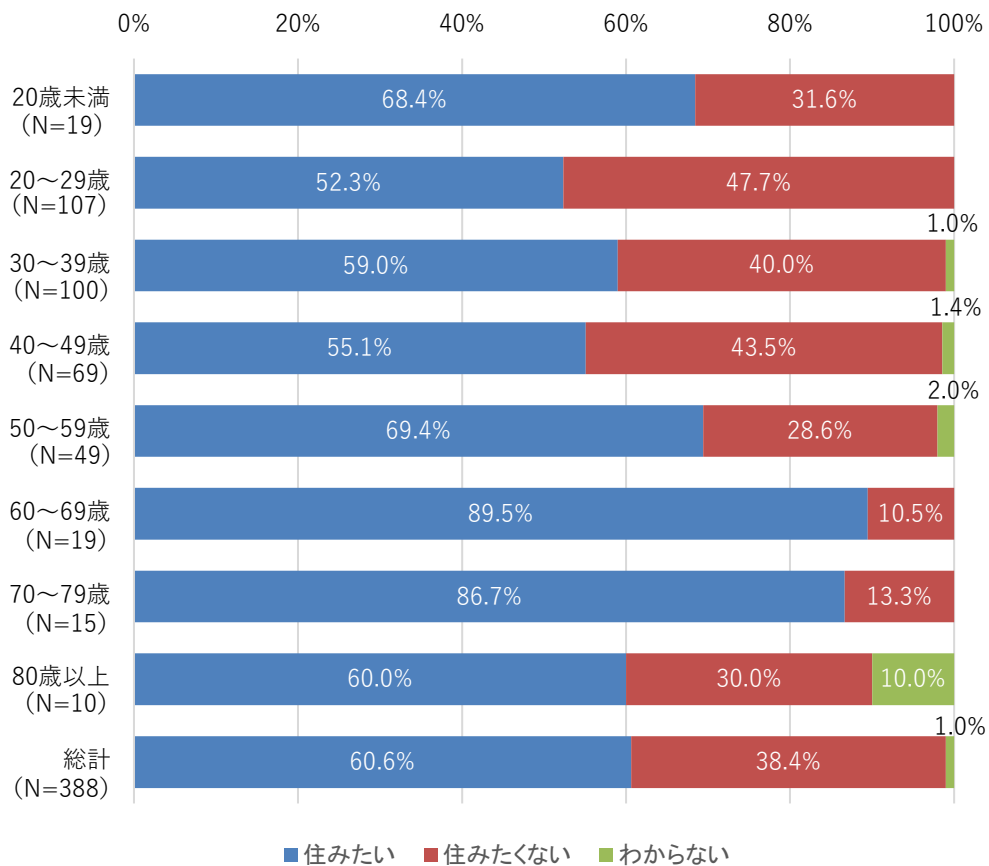
2-4. 返子市にずっと住みたいと思うか

(1) 全体



(注) 地域無回答を除く。

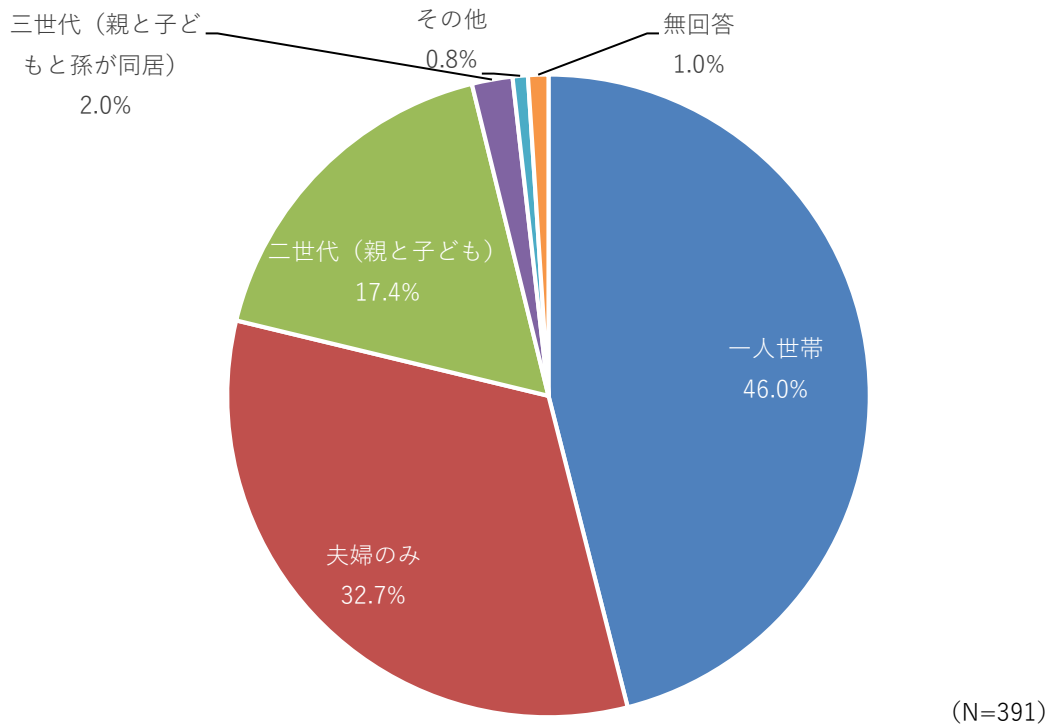
(2) 年齢別



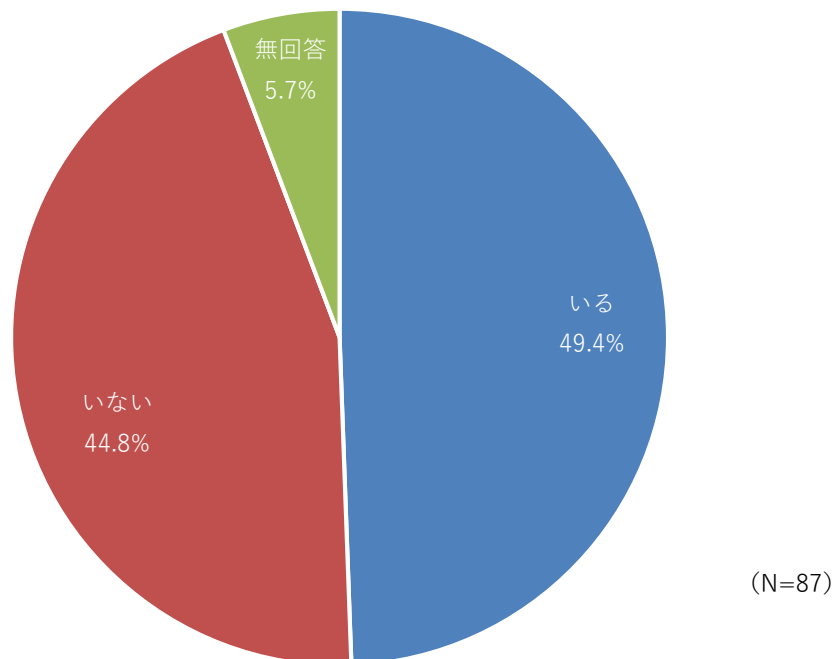
(注) 年齢無回答を除く。

2-5. 回答者のプロフィール

(1) 転入する世帯の状況

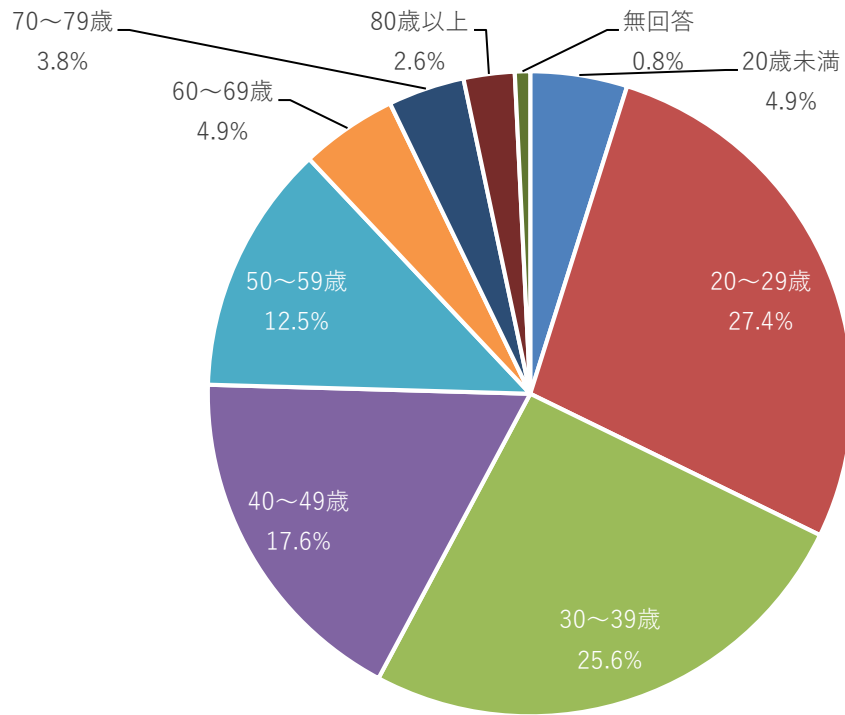


(2) (子どもと一緒に転居をした場合) 中学生以下の子どもの有無



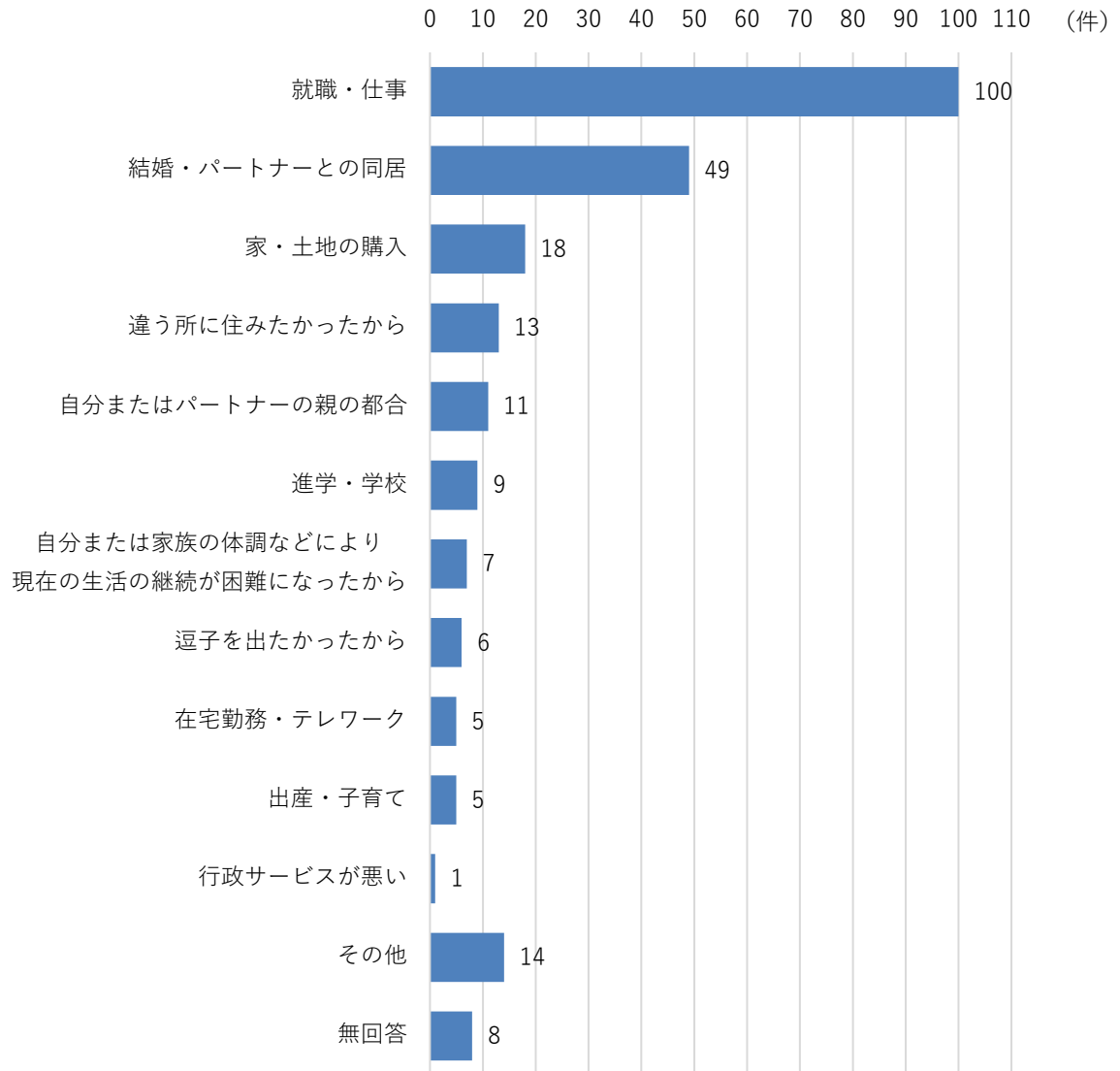
IV. 令和4年度転入者・転出者アンケート集計結果

(3) 転入の一番のきっかけとなった人の年齢



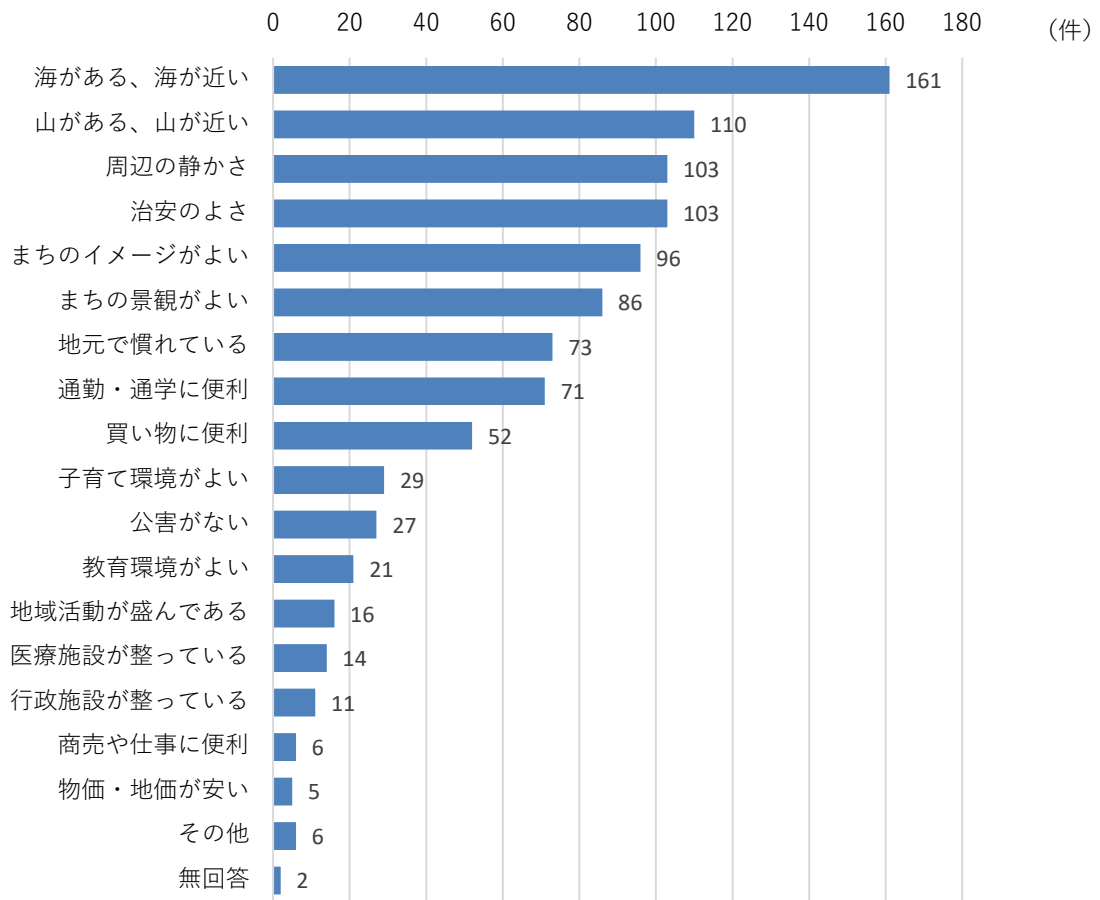
3. 市外転出者アンケート集計結果

3-1. 転出の事情、きっかけ（複数回答）



3-2. 逗子市に住んでいて良かったと感じた事柄（複数回答）

(1) 全体



(2) 年齢別

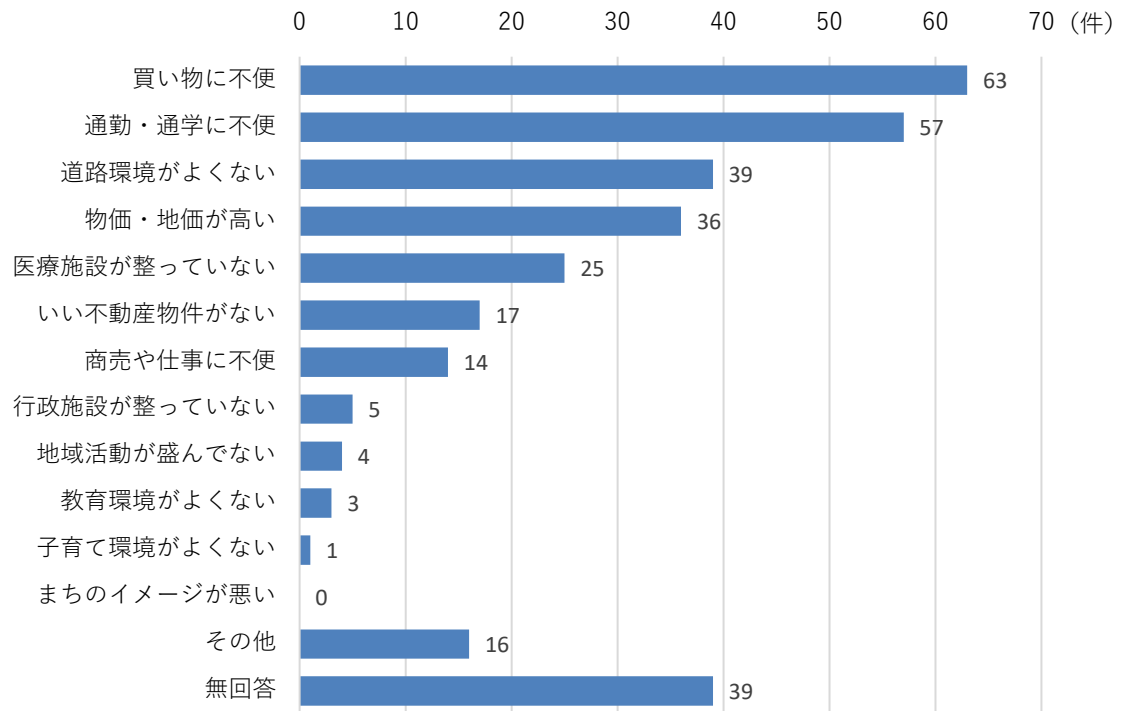
理由	年齢								無回答	合計
	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上		
海がある、海が近い	5	68	38	25	13	6	4	2	0	161
山がある、山が近い	5	43	25	17	8	5	5	2	0	110
周辺の静かさ	5	44	25	12	7	6	3	1	0	103
治安のよさ	3	40	26	16	10	4	2	2	0	103
まちのイメージがよい	4	42	21	18	5	4	2	0	0	96
まちの景観がよい	2	32	25	15	6	5	0	1	0	86
地元で慣れている	5	40	17	4	4	1	2	0	0	73
通勤・通学に便利	5	32	15	13	2	3	0	0	1	71
買い物に便利	4	20	13	8	2	3	2	0	0	52
子育て環境がよい	2	12	7	5	2	0	0	1	0	29
公害がない	3	9	4	6	0	3	0	1	1	27
教育環境がよい	3	10	4	1	2	0	1	0	0	21
地域活動が盛んである	1	8	4	1	0	2	0	0	0	16
医療施設が整っている	2	4	5	3	0	0	0	0	0	14
行政施設が整っている	1	2	3	5	0	0	0	0	0	11
商売や仕事に便利	0	2	2	0	0	1	1	0	0	6
物価・地価が安い	0	2	1	0	0	2	0	0	0	5
その他	0	4	2	0	0	0	0	0	0	6
無回答	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2

(凡例)

40~	
25~39	
10~24	
0~9	

3-3. 逗子市に住んでいて不便または不満に感じた事柄（複数回答）

(1) 全体



(2) 年齢別

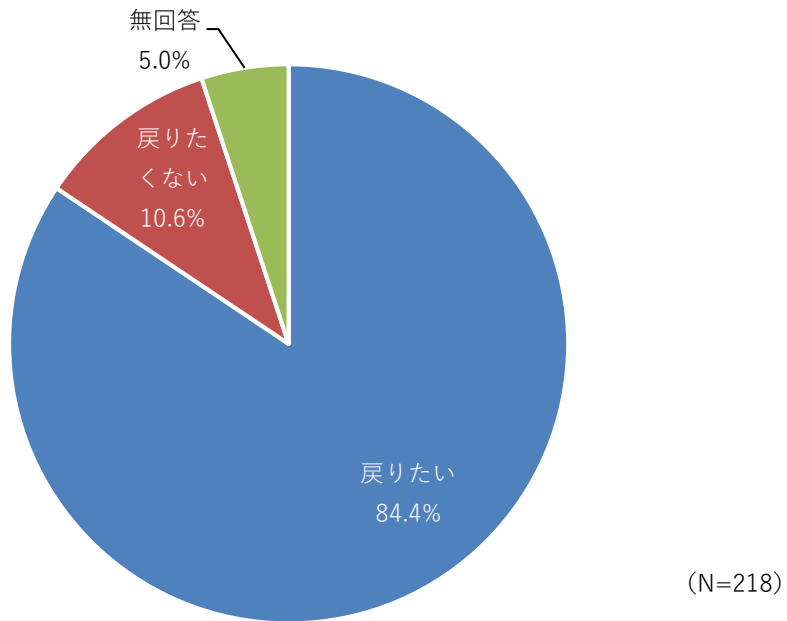
理由	年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	合計
通勤・通学		2	25	12	8	6	1	2	0	1	57
買い物に不便		2	25	15	5	11	2	2	0	1	63
商売や仕事に不便		1	6	3	3	0	0	1	0	0	14
医療施設が整っていない		0	10	5	5	4	0	1	0	0	25
行政施設が整っていない		0	2	0	2	1	0	0	0	0	5
物価・地価が高い		2	13	6	8	3	1	2	1	0	36
子育て環境がよい		0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
教育環境がよい		0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
道路環境がよい		2	14	8	3	6	2	3	1	0	39
いい不動産物件がない		1	6	3	7	0	0	0	0	0	17
地域活動が盛んでない		0	2	1	0	0	0	1	0	0	4
まちのイメージが悪い		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	4	3	4	3	2	0	0	0	16
無回答		0	21	10	5	0	1	2	0	0	39

(凡例)

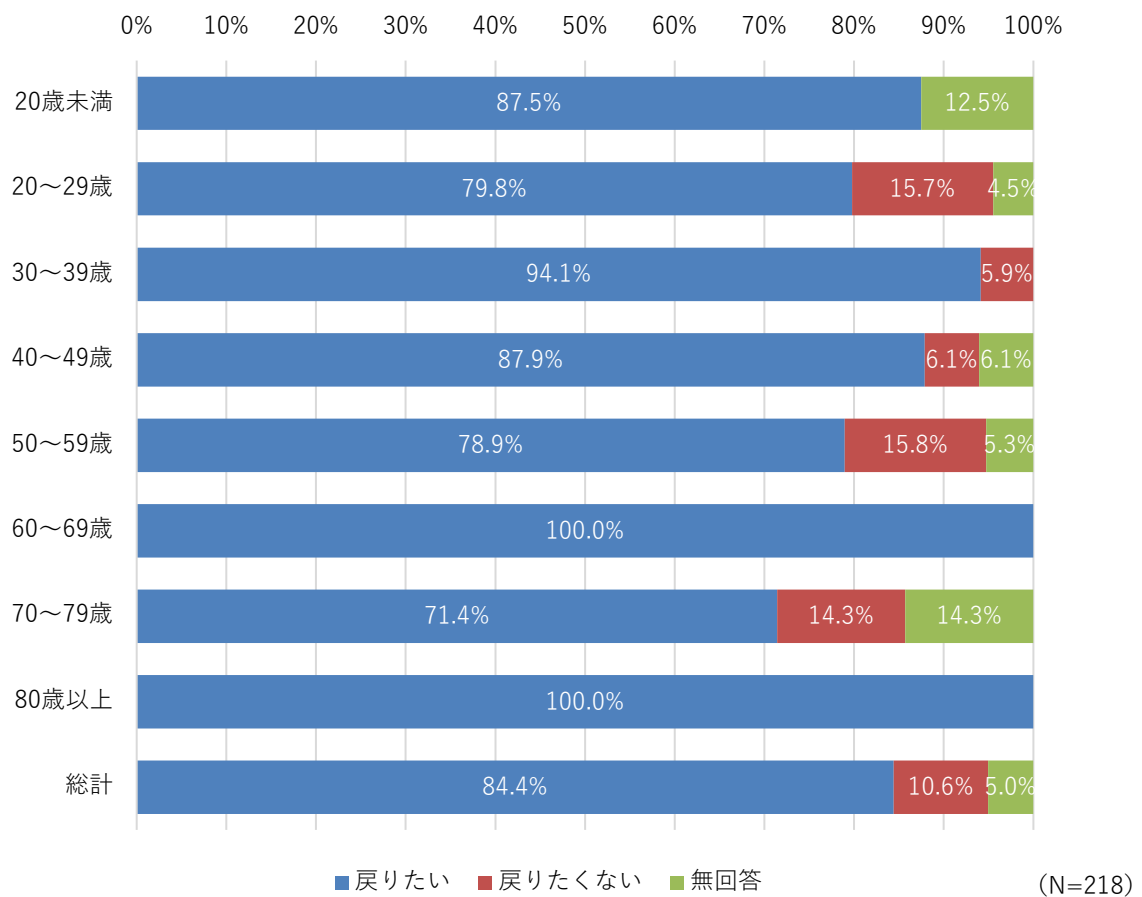
19～	
12～18	
5～11	
0～4	

3-4. 事情が許すのであれば、返子市に戻りたいかどうか

(1) 全体



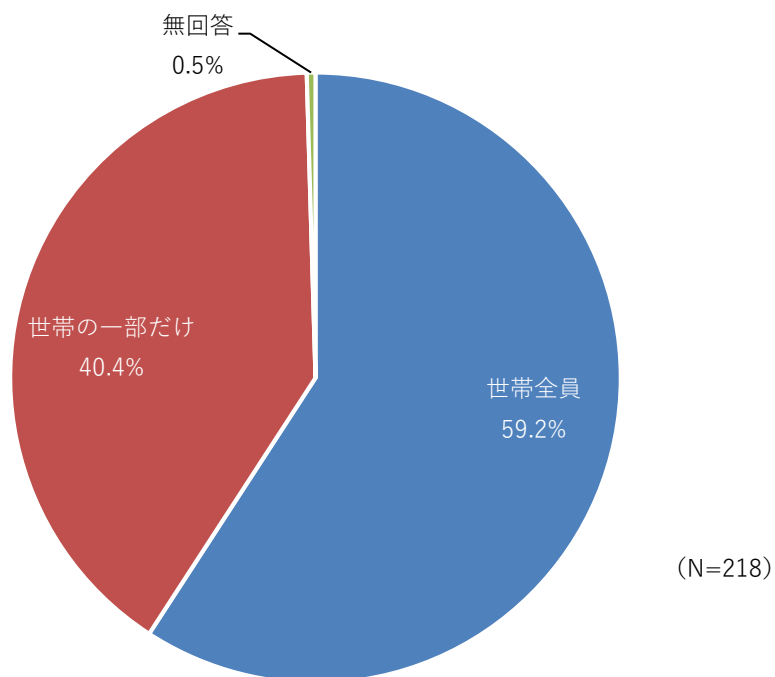
(2) 年齢別



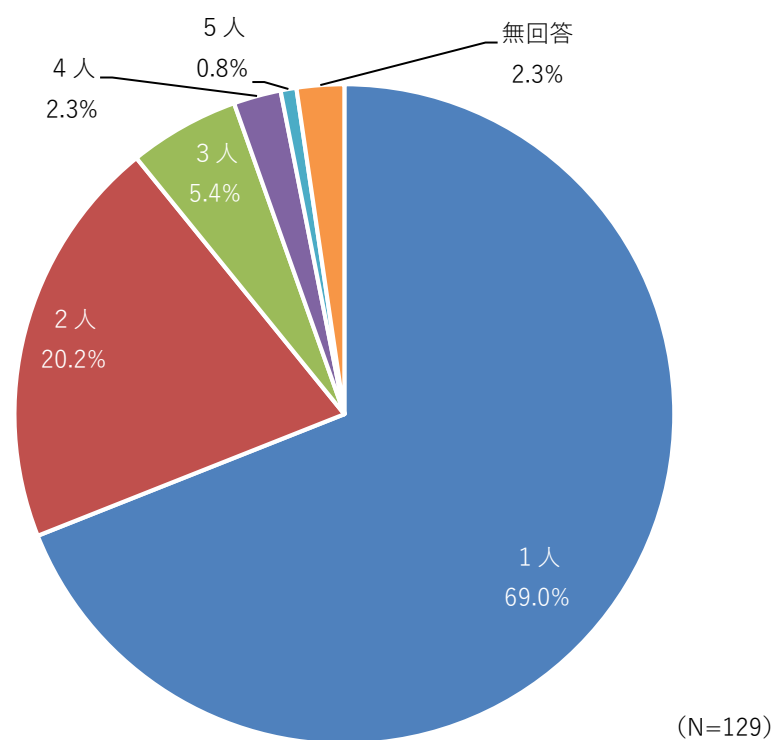
(注) 年齢無回答を除く。

3-5. 回答者のプロフィール

(1) 転出時の世帯の状況 (世帯員 or 世帯の一部)

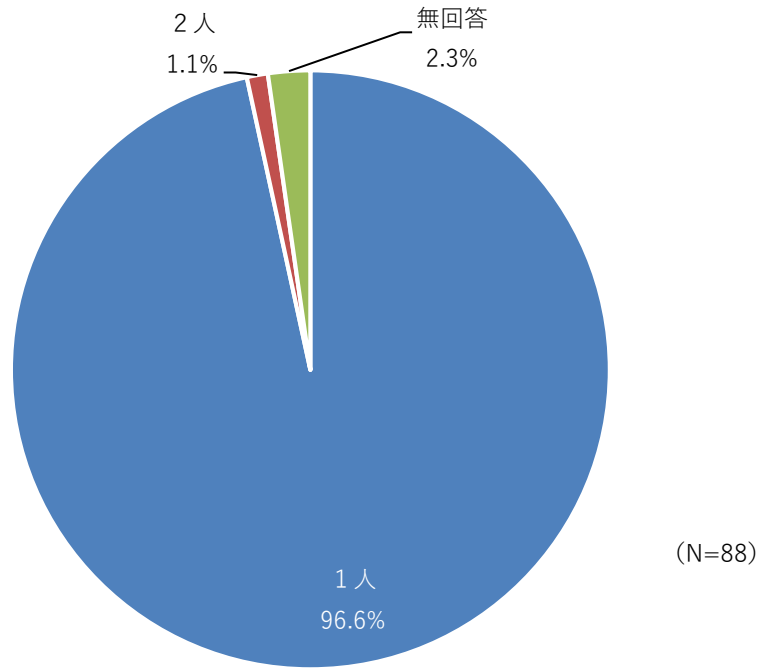


(2) 世帯全員が転出した場合の転出者数

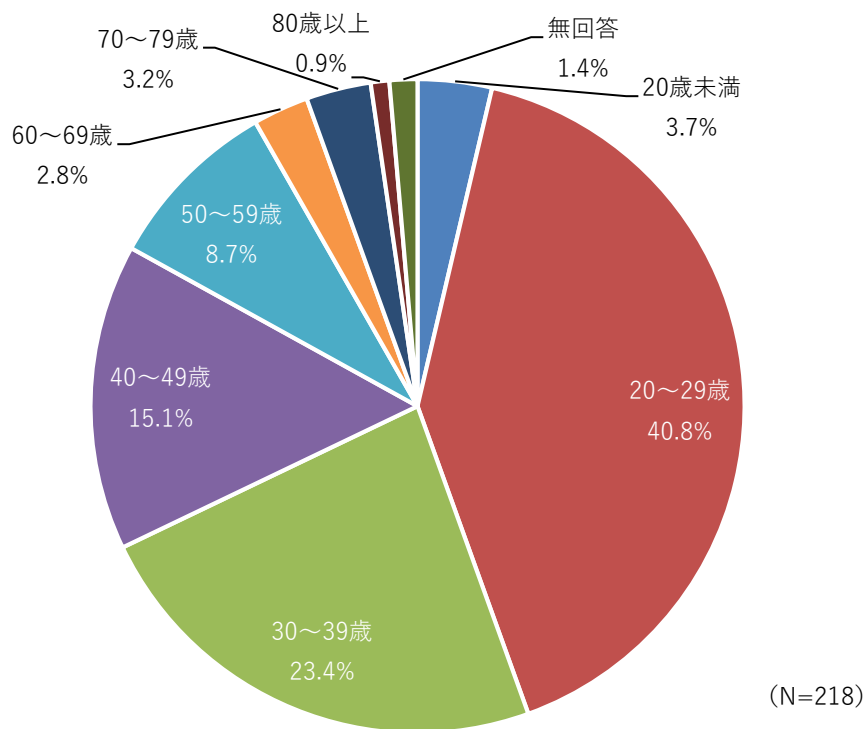


IV. 令和4年度転入者・転出者アンケート集計結果

(3) 世帯の一部が転出した場合の転出者数



(4) 転出の一番のきっかけとなった人の年齢



4. 調査票

(転入者アンケート)

転入

逗子市へ転入される皆様へ

今後のまちづくりの参考とさせていただくため、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。
※右記の二次元コードからもご回答いただけます。



左の二次元コードからもご回答いただけます。

Q1 転入される家族構成についてお答えください。(〇はそれぞれ1つだけ)

1 一人世帯

2 自分とパートナーのみ

3 二世帯(親と子ども) →

4 三世帯(親と子どもと孫が同居) →

5 その他() →

Q1-1 中学生以下の子どもの有無
(出産予定を含む)

1 いる

2 いない

Q2 転入の事情、きっかけを選んでください。(〇は複数可)

1 就職・仕事

2 在宅勤務・テレワーク

3 進学・学校

4 出産・子育て

5 家・土地の購入

6 結婚・パートナーとの同居

7 自分またはパートナーの親の都合

8 健康上の都合

9 イベント参加(イベント

名:)

10 その他()

Q3 今回転入される一番のきっかけとなった方の年齢を選んでください。(〇は1つだけ)

1 20歳未満

2 20~29歳

3 30~39歳

4 40~49歳

5 50~59歳

6 60~69歳

7 70~79歳

8 80歳以上

Q4 逗子市を転入先として選んだ理由を選んでください。(〇は複数可)

1 通勤・通学に便利

2 買い物に便利

3 商売や仕事に便利

4 医療施設が整っている

5 行政施設が整っている

6 物価・地価が安い

7 子育て環境がよい

8 教育環境がよい

9 海がある、海が近い

10 山がある、山が近い

11 まちの景観がよい

12 まちのイメージがよい

13 周辺の静かさ

14 治安の良さ

15 家族・親戚が近くにいる

16 友人・知人が近くにいる

17 地元で慣れている

18 その他()

Q5 以前、逗子市に住んだことがありますか。(〇は1つだけ)

1 逗子市出身(逗子市生まれ、または逗子市で小・中学校時代を過ごしたことがある)

2 一時期逗子市に住んだことがある

3 逗子市に住んだことはない、今回逗子市に住むのが初めてである

Q6 逗子市にずっと住みたいと思いますか。(〇は1つだけ)

1 住みたい

2 住みたくない

3 わからない

ご協力ありがとうございました

(転出者アンケート)

転出

逗子市から転出される皆様へ

今後のまちづくりの参考とさせていただくため、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。
※右記の二次元コードからもご回答いただけます。



左の二次元コードからもご回答いただけます。

Q1 転出される方と、その人数をお答えください。(〇は1つだけ)

1 世帯全員()人 2 世帯の一部だけ()人

Q2 転出の事情、きっかけを選んでください。(〇は複数可)

1 就職・仕事 2 在宅勤務・テレワーク 3 進学・学校 4 出産・子育て
5 家・土地の購入 6 結婚・パートナーとの同居 7 自分またはパートナーの親の都合
8 逗子を出たかったから 9 違う所に住みたかったから
10 自分または家族の体調などにより現在の生活の継続が困難になったから
11 行政サービスが悪い 12 その他()

Q3 今回転出される一番のきっかけとなった方の年齢を選んでください。(〇は1つだけ)

1 20歳未満 2 20~29歳 3 30~39歳 4 40~49歳
5 50~59歳 6 60~69歳 7 70~79歳 8 80歳以上

Q4 住んでいて良かったと感じた事柄を選んでください。(〇は複数可)

1 通勤・通学に便利 2 買い物に便利 3 商売や仕事に便利
4 医療施設が整っている 5 行政施設が整っている 6 物価・地価が安い
7 子育て環境がよい 8 教育環境がよい 9 海がある、海が近い
10 山がある、山が近い 11 まちの景観がよい 12 まちのイメージがよい
13 周辺の静かさ 14 治安の良さ 15 公害がない
16 地域活動が盛んである 17 地元で慣れている
18 その他()

Q5 住んでいて不便または不満に思われた事柄を選んでください。(〇は複数可)

1 通勤・通学に不便 2 買い物に不便 3 商売や仕事に不便
4 医療施設が整っていない 5 行政施設が整っていない 6 物価・地価が高い
7 子育て環境がよくない 8 教育環境がよくない 9 道路環境がよくない
10 いい不動産物件がない 11 地域活動が盛んでない 12 まちのイメージが悪い
13 その他()

Q6 事情が許すのであれば、逗子市に戻りたいと思いますか。(〇は1つだけ)

1 戻りたい 2 戻りたくない

ご協力ありがとうございました

令和4年度 人口データ集

発行日 | 2023年（令和5年）6月

発行 | 逗子市（経営企画部企画課編集）

〒249-8686 神奈川県逗子市逗子5丁目2番16号

TEL 046-873-1111（代表）

FAX 046-873-4520